



## ColorEdge SDR/HDR 設定ガイド

ColorEdge PROMINENCE CG3145、CG319X、CG279X を映像制作用途で使用する方に向けて、SDR/HDR の設定方法を示したガイドです。  
必ず下記 3 点を事前にご確認の上、設定を行ってください。

### 【 1 】ファームウェアを最新バージョンに更新してください

CG3145、CG319X で旧バージョンのファームウェアをお使いの場合は、下記 EIZO Web サイトから最新版をダウンロードし、アップデートを実施してください。

CG3145: <https://www.eizo.co.jp/support/db/products/software/CG3145#tab02>

CG319X: <https://www.eizo.co.jp/support/db/products/software/CG319X#tab02>

#### ※注意※

上記ファームウェアアップデートを実施後、モニターは強制的に All Reset がかけられます。これにより、OSD から設定した内容は初期値にリセットされ、ColorNavigator NX から設定した内容は強制的に削除されます。

### 【 2 】カラーモードを変更する場合(特に SDR と HDR を切替える場合)は、最低 30 分間のエイジングが必要です

### 【 3 】高度な検証を行う際は、ColorNavigator 7 で調整することをお勧めします

検証で使用するセンサーと同じセンサーを使って調整してください。

ColorNavigator 7 は 2019 年 1 月公開予定のバージョンで、CG3145 に対応予定です。

# 目次

SDR/HDR 設定を行うには、2つの調整方法があります。お使いの環境、用途に適した方法をお選びください。

1. モニターの OSD メニューのみを操作する調整方法
2. モニターの OSD メニューと ColorNavigator 7 を組み合わせた調整方法

## I. ColorEdge PROMINENCE CG3145

### 1. OSD での調整方法

1.1	BT.2020 (SDR).....	3
1.2	BT.709 (SDR).....	4
1.3	DCI (SDR).....	5
1.4	PQ_BT.2100 (HDR).....	6
1.5	PQ_DCI (HDR).....	7
1.6	HLG_BT.2100 (HDR).....	8

### 2. ColorNavigator 7 での調整方法

2.1	BT.2020 (SDR).....	9
2.2	BT.709 (SDR).....	10
2.3	DCI (SDR).....	11
2.4	PQ_BT.2100 (HDR).....	12
2.5	PQ_DCI (HDR).....	13
2.6	HLG_BT.2100 (HDR).....	14

## II. ColorEdge CG319X、CG279X

### 1. OSD での調整方法

1.1	BT.2020 (SDR).....	15
1.2	BT.709 (SDR).....	16
1.3	DCI (SDR).....	17
1.4	PQ_DCI (HDR) PQ / HLG クリッピング: 300 cd/m <sup>2</sup> .....	18
1.5	PQ_DCI (HDR) PQ / HLG クリッピング: 1000 cd/m <sup>2</sup> .....	19
1.6	PQ_BT.2100 (HDR) PQ / HLG クリッピング: 300 cd/m <sup>2</sup> .....	20
1.7	PQ_BT.2100 (HDR) PQ / HLG クリッピング: 1000 cd/m <sup>2</sup> .....	21
1.8	HLG_BT.2100 (HDR) PQ / HLG クリッピング: ON.....	22
1.9	HLG_BT.2100 (HDR) PQ / HLG クリッピング: OFF.....	23

### 2. ColorNavigator 7 での調整方法

2.1	BT.2020 (SDR).....	24
2.2	BT.709 (SDR).....	25
2.3	DCI (SDR).....	26
2.4	PQ_DCI (HDR) PQ クリッピング: 300 cd/m <sup>2</sup> .....	27
2.5	PQ_DCI (HDR) PQ クリッピング: 1000 cd/m <sup>2</sup> .....	28
2.6	PQ_BT.2100 (HDR) PQ クリッピング: 300 cd/m <sup>2</sup> .....	29
2.7	PQ_BT.2100 (HDR) PQ クリッピング: 1000 cd/m <sup>2</sup> .....	30
2.8	HLG_BT.2100 (HDR) HLG クリッピング: ON.....	31
2.9	HLG_BT.2100 (HDR) HLG クリッピング: OFF.....	32

**YUV422 信号の場合:**

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」と「カラー調整」の項目を参照します。
2. 「信号設定」は ① ~ ②、「カラー調整」は ③ ~ ⑤ の項目をそれぞれ下記表の通りに設定します。

カラーモード: BT.2020	
<b>YUV422</b>	
① YUVカラーマトリクス	BT.2020 <sup>1</sup>
② 入力レンジ	リミテッド (109% 白)
③ カラーモード	BT.2020
④ 輝度	123 cd/m <sup>2</sup>
⑤ ガンマ (EOTF)	2.4

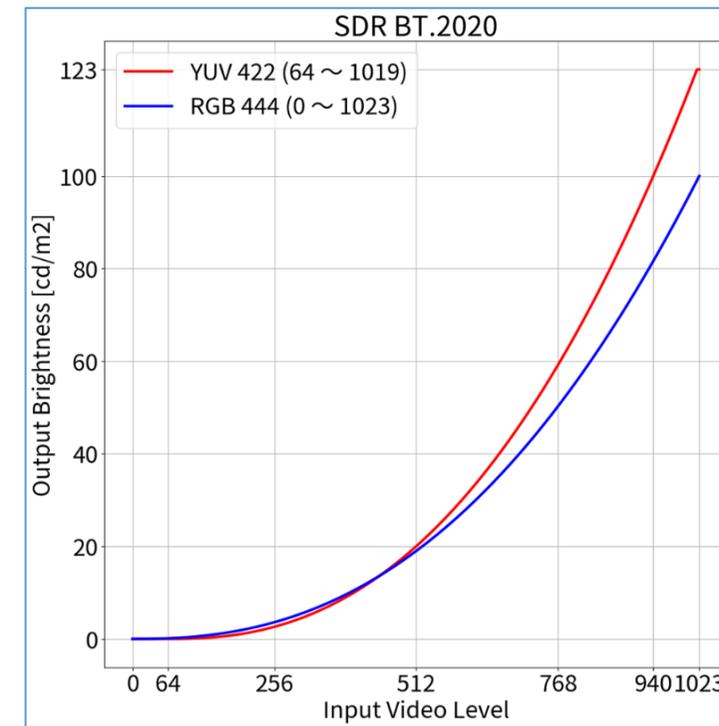
信号設定 (HDMI1)	
カラーフォーマット	[ 自動 ]
YUVカラーマトリクス	[ ① ]
入力レンジ	[ ② ]
HDMI設定	
入力信号情報	
1920x1080	60.00 Hz
リミテッドレンジ	
YCbCr4:2:2	10bit
-	

**RGB444 信号の場合:**

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」と「カラー調整」の項目を参照します。
2. 「信号設定」は ②、「カラー調整」は ③ ~ ⑤ の項目をそれぞれ下記表の通りに設定します。

カラーモード: BT.2020	
<b>RGB444</b>	
② 入力レンジ	フル
③ カラーモード	BT.2020
④ 輝度	100 cd/m <sup>2</sup>
⑤ ガンマ (EOTF)	2.4

カラー調整 (BT. 709)	
カラーモード	[ ③ ]
輝度	[ ④ ]
色温度	[ D65 ]
ガンマ (EOTF)	[ ⑤ ]
PQ / HLG クリッピング	[ - ]
HLGシステムガンマ	[ - ]
色域	[ BT. 709 ]
詳細設定	
リセット	



<sup>1</sup> 規格上は BT.2020 を推奨しますが、機材やツールの設定によっては意図的に BT.709 の RGB to YUV 係数が適用される場合もあります。その際は機材やツールの設定に合わせて適切な設定を行ってください。

**YUV422 信号の場合:**

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」と「カラー調整」の項目を参照します。
2. 「信号設定」は ① ~ ②、「カラー調整」は ③ ~ ⑤ の項目をそれぞれ下記表の通りに設定します。

カラーモード: BT.709	
<b>YUV422</b>	
① YUVカラーマトリクス	BT.709
② 入力レンジ	リミテッド (109% 白)
③ カラーモード	BT.709
④ 輝度	123 cd/m <sup>2</sup>
⑤ ガンマ(EOTF)	2.4

**RGB444 信号の場合:**

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」と「カラー調整」の項目を参照します。
2. 「信号設定」は ②、「カラー調整」は ③ ~ ⑤ の項目をそれぞれ下記表の通りに設定します。

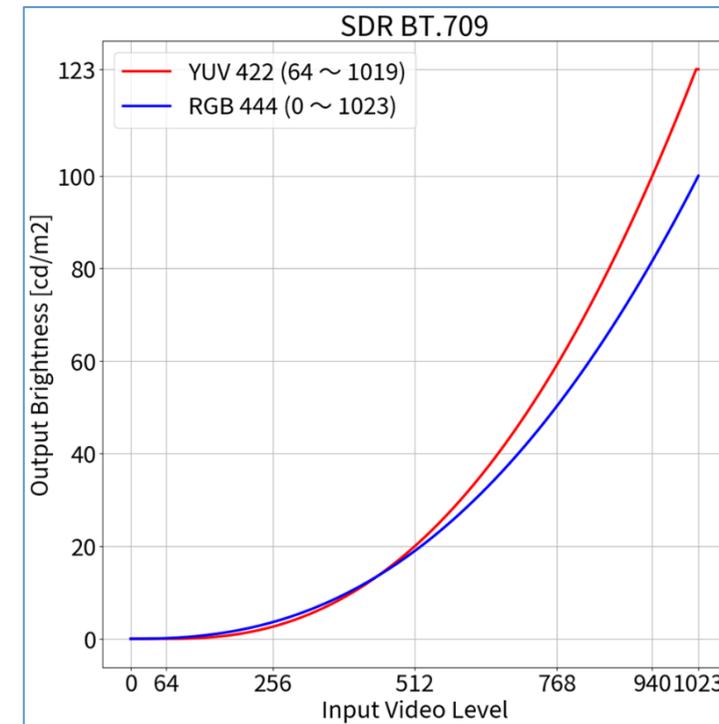
カラーモード: BT.709	
<b>RGB444</b>	
② 入力レンジ	フル
③ カラーモード	BT.709
④ 輝度	100 cd/m <sup>2</sup>
⑤ ガンマ (EOTF)	2.4

**信号設定**

信号設定 (HDMI1)	
カラーフォーマット	[ 自動 ]
YUVカラーマトリクス	[ ① ]
入力レンジ	[ ② ]
HDMI設定	
入力信号情報	
1920x1080 60.00 Hz	
リミテッドレンジ	
YCbCr4:2:2 10bit	
-	

**カラー調整**

カラー調整 (BT.709)	
カラーモード	[ ③ ]
輝度	[ ④ ]
色温度	[ D65 ]
ガンマ (EOTF)	[ ⑤ ]
PQ / HLG クリッピング	[ - ]
HLGシステムガンマ	[ - ]
色域	[ BT.709 ]
詳細設定	
リセット	



1 規格上は BT.2020 を推奨しますが、機材やツールの設定によっては意図的に BT.709 の RGB to YUV 係数が適用される場合もあります。その際は機材やツールの設定に合わせて適切な設定を行ってください。

**RGB444 信号の場合:**

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」と「カラー調整」の項目を参照します。
2. 「信号設定」は ②、「カラー調整」は ③ ~ ⑤ の項目をそれぞれ下記表の通りに設定します。

カラーモード: DCI

**RGB444**

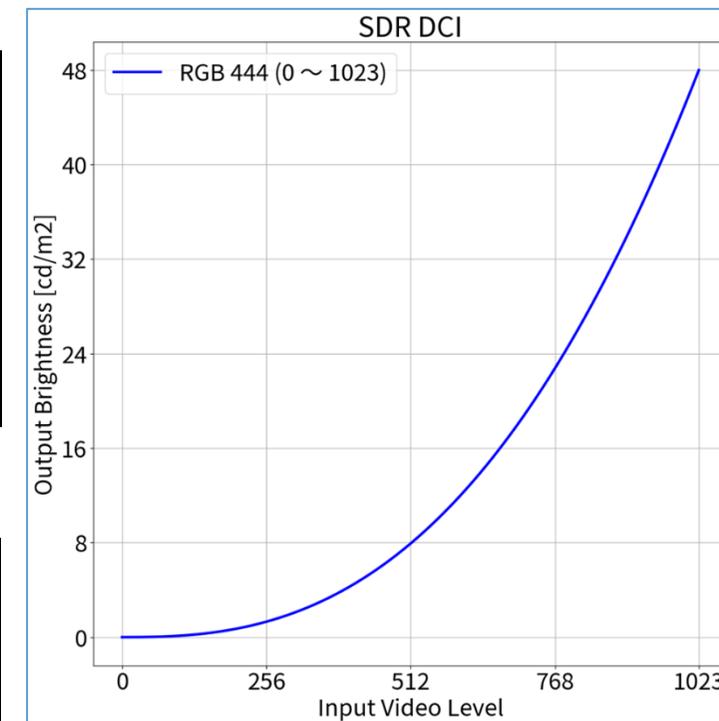
② 入力レンジ	フル
③ カラーモード	DCI
④ 輝度	48 cd/m <sup>2</sup>
⑤ ガンマ (EOTF)	2.6

**信号設定**

信号設定 (HDMI1)	
カラーフォーマット	[ 自動 ]
YUVカラーマトリクス	[ ① ]
入力レンジ	[ ② ]
HDMI設定	
入力信号情報	
1920x1080 60.00 Hz	
リミテッドレンジ	
YCbCr4:2:2 10bit	
-	

**カラー調整**

カラー調整 (BT. 709)	
カラーモード	[ ③ ]
輝度	[ ④ ]
色温度	[ D65 ]
ガンマ (EOTF)	[ ⑤ ]
PQ / HLG クリッピング	[ - ]
HLGシステムガンマ	[ - ]
色域	[ BT. 709 ]
詳細設定	
リセット	



**YUV422 信号の場合:**

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」と「カラー調整」の項目を参照します。
2. 「信号設定」は ① ~ ②、「カラー調整」は ③ ~ ⑤ の項目をそれぞれ下記表の通りに設定します。

カラーモード: PQ\_BT.2100

**YUV422**

- |               |                        |
|---------------|------------------------|
| ① YUVカラーマトリクス | BT.2020 <sup>1</sup>   |
| ② 入力レンジ       | リミテッド                  |
| ③ カラーモード      | PQ_BT.2100             |
| ④ 輝度          | 1000 cd/m <sup>2</sup> |
| ⑤ ガンマ (EOTF)  | PQ                     |

**信号設定**

信号設定 (HDMI1)	
カラーフォーマット	[ 自動 ]
YUVカラーマトリクス	[ ① ]
入力レンジ	[ ② ]
HDMI設定	
入力信号情報	
1920x1080 60.00 Hz	
リミテッドレンジ	
YCbCr4:2:2 10bit	
-	

**RGB444 信号の場合:**

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」と「カラー調整」の項目を参照します。
2. 「信号設定」は ②、「カラー調整」は ③ ~ ⑤ の項目をそれぞれ下記表の通りに設定します。

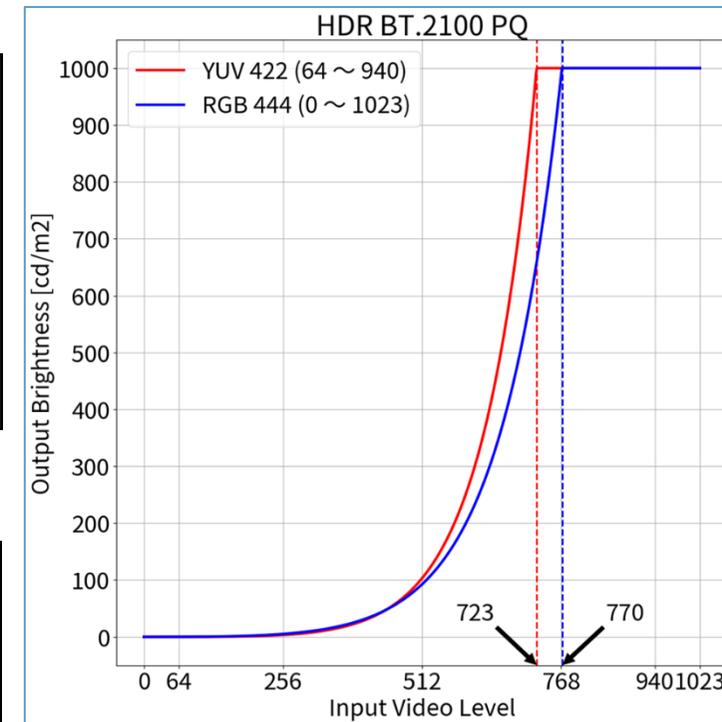
カラーモード: PQ\_BT.2100

**RGB444**

- |              |                        |
|--------------|------------------------|
| ② 入力レンジ      | フル                     |
| ③ カラーモード     | PQ_BT.2100             |
| ④ 輝度         | 1000 cd/m <sup>2</sup> |
| ⑤ ガンマ (EOTF) | PQ                     |

**カラー調整**

カラー調整 (BT.709)	
カラーモード	[ ③ ]
輝度	[ ④ ]
色温度	[ D65 ]
ガンマ (EOTF)	[ ⑤ ]
PQ / HLG クリッピング	[ - ]
HLGシステムガンマ	[ - ]
色域	[ BT.709 ]
詳細設定	
リセット	



<sup>1</sup> 規格上は BT.2020 を推奨しますが、機材やツールの設定によっては意図的に BT.709 の RGB to YUV 係数が適用される場合もあります。その際は機材やツールの設定に合わせて適切な設定を行ってください。

**RGB444 信号の場合:**

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」と「カラー調整」の項目を参照します。
2. 「信号設定」は ②、「カラー調整」は ③ ~ ⑤ の項目をそれぞれ下記表の通りに設定します。

カラーモード: PQ\_DCI

**RGB444**

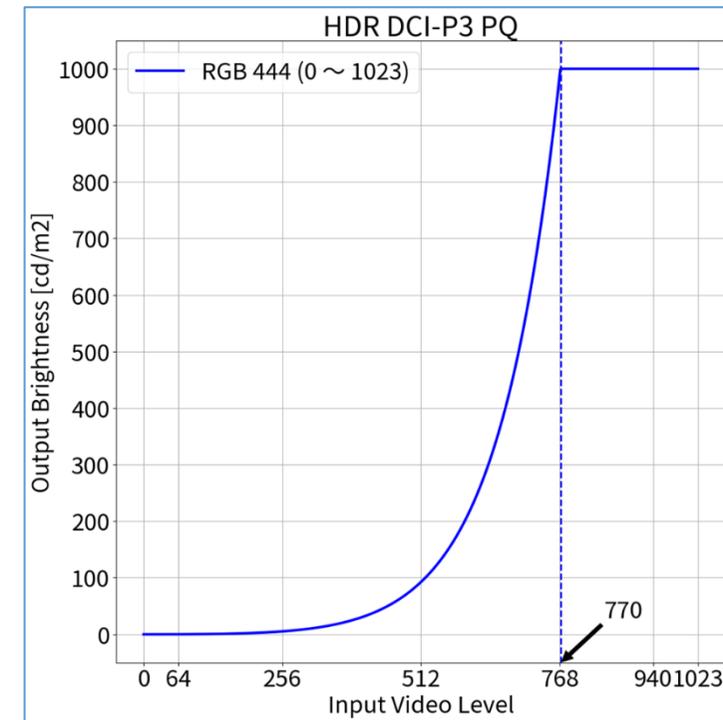
② 入力レンジ	フル
③ カラーモード	PQ_DCI
④ 輝度	1000 cd/m <sup>2</sup>
⑤ ガンマ (EOTF)	PQ

**信号設定**

信号設定 (HDMI1)	
カラーフォーマット	[ 自動 ]
YUVカラーマトリクス	[ ① ]
入力レンジ	[ ② ]
HDMI設定	
入力信号情報	
1920x1080 60.00 Hz	
リミテッドレンジ	
YCbCr4:2:2 10bit	
-	

**カラー調整**

カラー調整 (BT. 709)	
カラーモード	[ ③ ]
輝度	[ ④ ]
色温度	[ D65 ]
ガンマ (EOTF)	[ ⑤ ]
PQ / HLG クリッピング	[ - ]
HLGシステムガンマ	[ - ]
色域	[ BT. 709 ]
詳細設定	
リセット	



**YUV422 信号の場合:**

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」と「カラー調整」の項目を参照します。
2. 「信号設定」は ① ~ ②、「カラー調整」は ③ ~ ⑤ の項目をそれぞれ下記表の通りに設定します。

カラーモード: HLG\_BT.2100

**YUV422**

- ① YUVカラーマトリクスBT.2020<sup>1</sup>
- ② 入力レンジ リミテッド
- ③ カラーモード HLG\_BT.2100
- ④ 輝度 1000 cd/m<sup>2</sup>
- ⑤ ガンマ (EOTF) HLG

**RGB444 信号の場合:**

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」と「カラー調整」の項目を参照します。
2. 「信号設定」は ②、「カラー調整」は ③ ~ ⑤ の項目をそれぞれ下記表の通りに設定します。

カラーモード: HLG\_BT.2100

**RGB444**

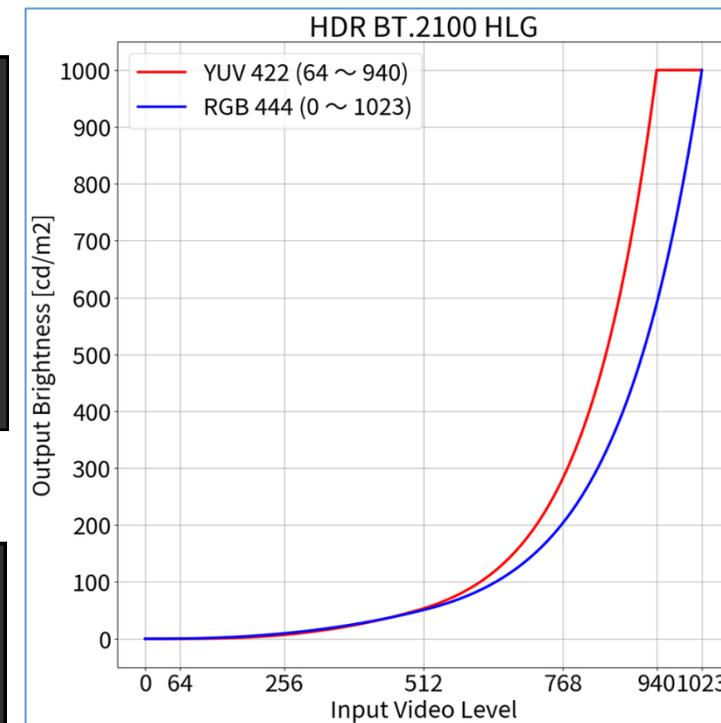
- ② 入力レンジ フル
- ③ カラーモード HLG\_BT.2100
- ④ 輝度 1000 cd/m<sup>2</sup>
- ⑤ ガンマ (EOTF) HLG

**信号設定**

信号設定 (HDMI1)	
カラーフォーマット	[ 自動 ]
YUVカラーマトリクス	[ ① ]
入力レンジ	[ ② ]
HDMI設定	
入力信号情報	
1920x1080 60.00 Hz	
リミテッドレンジ	
YCbCr4:2:2 10bit	
-	

**カラー調整**

カラー調整 (BT.709)	
カラーモード	[ ③ ]
輝度	[ ④ ]
色温度	[ D65 ]
ガンマ (EOTF)	[ ⑤ ]
PQ / HLG クリッピング	[ - ]
HLGシステムガンマ	[ - ]
色域	[ BT.709 ]
詳細設定	
リセット	



<sup>1</sup> 規格上は BT.2020 を推奨しますが、機材やツールの設定によっては意図的に BT.709 の RGB to YUV 係数が適用される場合もあります。その際は機材やツールの設定に合わせて適切な設定を行ってください。

**YUV422 信号の場合:**

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」の① ~ ② を下記表の通りに設定します。
2. ColorNavigator 7 を起動し、カラーモード「BT.2020」を右クリックし、「目標の編集」を選択。
3. カラーモードタイプの  をクリックし、「Advanced Mode」を選択。その下の「プリセット目標」で「BT.2020」を選択します。
4. ① ~ ④、⑦ ~ ⑨の項目をそれぞれ下記表の通りに設定。
5. 最後に「キャリブレーション」を実行してください。

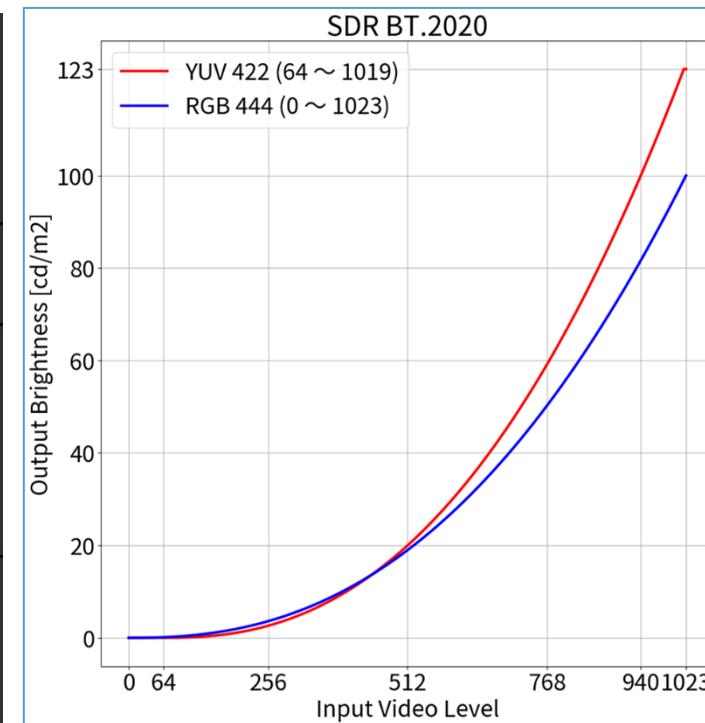
カラーモード: BT.2020	
<b>YUV422</b>	
① 輝度	123 cd/m <sup>2</sup>
② 黒レベル	最小値
③ 白色点	D65
④ ガンマ (EOTF)	2.4
⑦ 調整方法	標準
⑧ 色域	BT.2020
⑨ 色域クリッピング	✓
① YUVカラーマトリクス	BT.2020 <sup>1</sup>
② 入力レンジ	リミテッド (109% 白)

**RGB444 信号の場合:**

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」の② を下記表の通りに設定します。
2. ColorNavigator 7 を起動し、カラーモード「BT.2020」を右クリックし、「目標の編集」を選択。
3. カラーモードタイプの  をクリックし、「Advanced Mode」を選択。その下の「プリセット目標」で「BT.2020」を選択します。
4. ① ~ ④、⑦ ~ ⑨の項目をそれぞれ下記表の通りに設定。
5. 最後に「キャリブレーション」を実行してください。

カラーモード: BT.2020	
<b>RGB444</b>	
① 輝度	100 cd/m <sup>2</sup>
② 黒レベル	最小値
③ 白色点	D65
④ ガンマ (EOTF)	2.4
⑦ 調整方法	標準
⑧ 色域	BT.2020
⑨ 色域クリッピング	✓
② 入力レンジ	フル

**ColorNavigator 目標の編集**

**OSD 信号設定**


<sup>1</sup> 規格上は BT.2020 を推奨しますが、機材やツールの設定によっては意図的に BT.709 の RGB to YUV 係数が適用される場合もあります。その際は機材やツールの設定に合わせて適切な設定を行ってください。

**YUV422 信号の場合:**

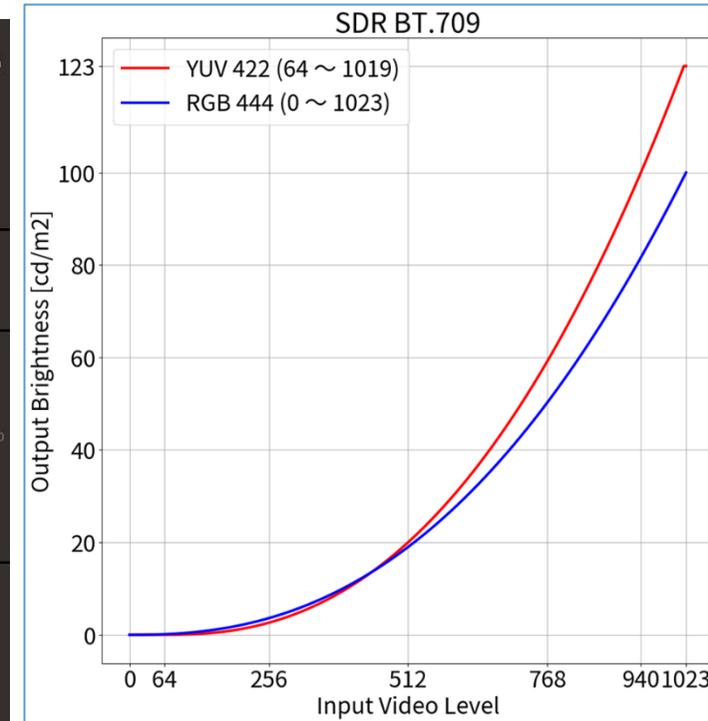
1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」の① ~ ② を下記表の通りに設定します。
2. ColorNavigator 7 を起動し、カラーモード「BT.709」を右クリックし、「目標の編集」を選択。
3. カラーモードタイプの  をクリックし、「Advanced Mode」を選択。その下の「プリセット目標」で「BT.709」を選択します。
4. ① ~ ④、⑦ ~ ⑨の項目をそれぞれ下記表の通りに設定。
5. 最後に「キャリブレーション」を実行してください。

カラーモード: BT.709	
YUV422	
① 輝度	123 cd/m <sup>2</sup>
② 黒レベル	最小値
③ 白色点	D65
④ ガンマ (EOTF)	2.4
⑦ 調整方法	標準
⑧ 色域	BT.709
⑨ 色域クリッピング	✓
① YUVカラーマトリクス	BT.709
② 入力レンジ	リミテッド (109% 白)

**RGB444 信号の場合:**

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」の② を下記表の通りに設定します。
2. ColorNavigator 7 を起動し、カラーモード「BT.709」を右クリックし、「目標の編集」を選択。
3. カラーモードタイプの  をクリックし、「Advanced Mode」を選択。その下の「プリセット目標」で「BT.709」を選択します。
4. ① ~ ④、⑦ ~ ⑨の項目をそれぞれ下記表の通りに設定。
5. 最後に「キャリブレーション」を実行してください。

カラーモード: BT.709	
RGB444	
① 輝度	100 cd/m <sup>2</sup>
② 黒レベル	最小値
③ 白色点	D65
④ ガンマ (EOTF)	2.4
⑦ 調整方法	標準
⑧ 色域	BT.709
⑨ 色域クリッピング	✓
② 入力レンジ	フル

**ColorNavigator 目標の編集**
**OSD 信号設定**

1 規格上は BT.2020 を推奨しますが、機材やツールの設定によっては意図的に BT.709 の RGB to YUV 係数が適用される場合もあります。その際は機材やツールの設定に合わせて適切な設定を行ってください。

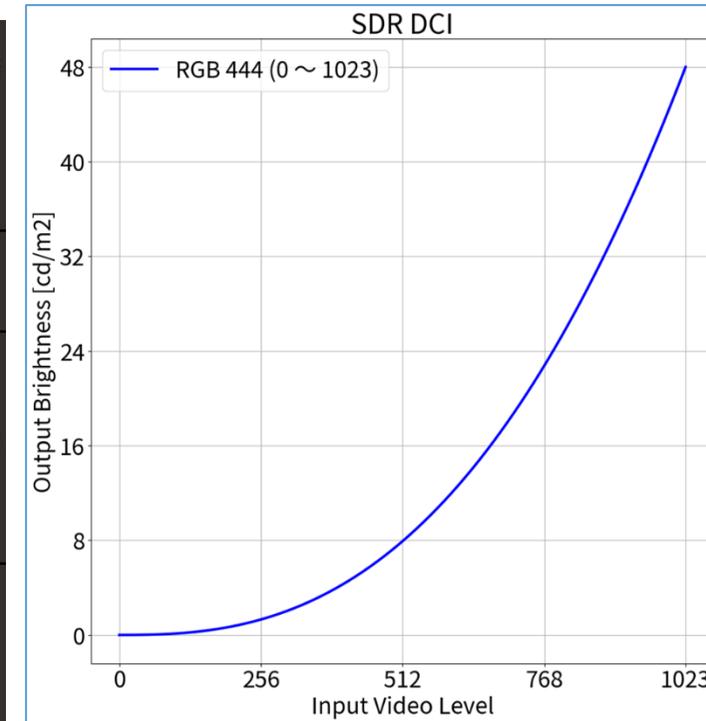
**RGB444 信号の場合:**

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」の② を下記表の通りに設定します。
2. ColorNavigator 7 を起動し、カラーモード「DCI」を右クリックし、「目標の編集」を選択。
3. カラーモードタイプの  をクリックし、「Advanced Mode」を選択。その下の「プリセット目標」で「DCI」を選択します。
4. ① ~ ④、⑦ ~ ⑨ の項目をそれぞれ下記表の通りに設定。
5. 最後に「キャリブレーション」を実行してください。

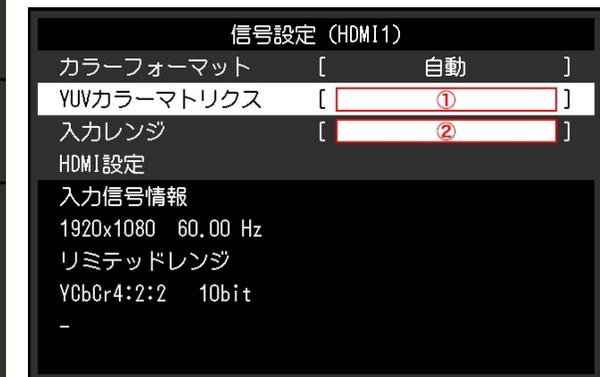
**ColorNavigator 目標の編集**


The screenshot shows the 'ColorNavigator 目標の編集' (Target Editing) interface. It is divided into several sections with numbered callouts:

- ① 輝度 (Brightness):** Set to 48 cd/m<sup>2</sup> (Standard Input).
- ② 黒レベル (Black Level):** Set to 0.02 cd/m<sup>2</sup> (Minimum).
- ③ 白色点 (White Point):** Set to D65 (0.3127, 0.3290).
- ④ ガンマ (EOTF) (Gamma):** Set to PQ (PQ Clipping: 1000 cd/m<sup>2</sup>).
- ⑤ ⑥ HLGシステムガンマ (HLG System Gamma):** Set to 1.20.
- ⑦ 調整方法 (Adjustment Method):** Set to Standard.
- ⑧ 色域 (Color Space):** Set to BT.2020.
- ⑨ 色域クリッピング (Color Space Clipping):** Checked.



カラーモード: DCI	
<b>RGB444</b>	
① 輝度	48 cd/m <sup>2</sup>
② 黒レベル	最小値
③ 白色点	D65
④ ガンマ (EOTF)	2.6
⑦ 調整方法	標準
⑧ 色域	DCI
⑨ 色域クリッピング	✓
② 入力レンジ	フル

**OSD 信号設定**


The screenshot shows the 'OSD 信号設定 (HDMI 1)' (OSD Signal Settings) menu. The following settings are visible:

- カラーフォーマット (Color Format): [ 自動 ]
- YUVカラーマトリクス (YUV Color Matrix): [ ① ]
- 入力レンジ (Input Range): [ ② ]
- HDMI設定 (HDMI Settings):
  - 入力信号情報 (Input Signal Info): 1920x1080 60.00 Hz
  - リミテッドレンジ (Limited Range): YCbCr4:2:2 10bit

## 2.4

## ColorNavigator 7での調整方法 - カラーモード: PQ\_BT.2100 (HDR)

## YUV422 信号の場合:

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」の① ~ ② を下記表の通りに設定します。
2. ColorNavigator 7 を起動し、カラーモード「PQ\_BT.2100」を右クリックし、「目標の編集」を選択。
3. カラーモードタイプの  をクリックし、「Advanced Mode」を選択。その下の「プリセット目標」で「PQ\_BT.2100」を選択します。
4. ① ~ ⑤、⑦ ~ ⑨の項目をそれぞれ下記表の通りに設定。
5. 最後に「キャリブレーション」を実行してください。

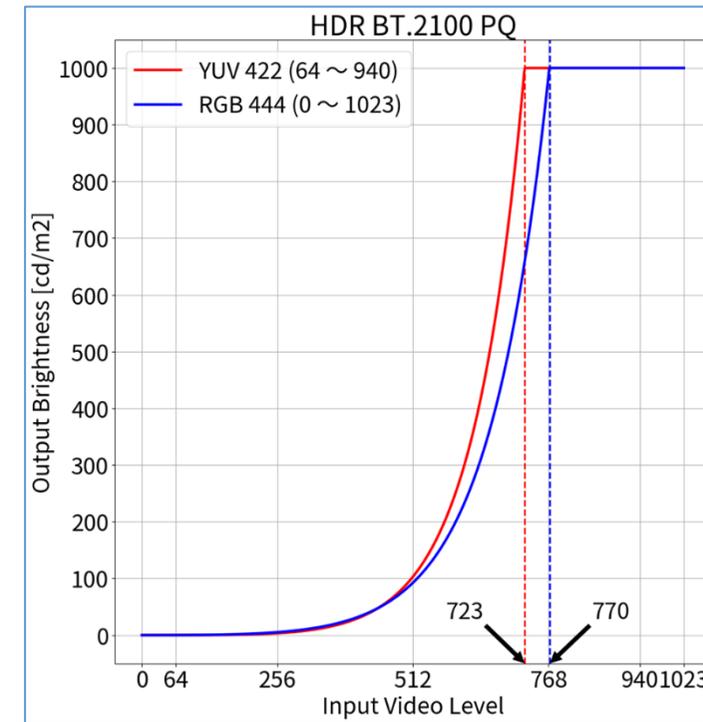
カラーモード: PQ_BT.2100	
YUV422	
① 輝度	1000 cd/m <sup>2</sup>
② 黒レベル	最小値
③ 白色点	D65
④ ガンマ (EOTF)	PQ
⑤ PQクリッピング	1000
⑦ 調整方法	標準
⑧ 色域	BT.2020
⑨ 色域クリッピング	✓
① YUVカラーマトリクス	BT.2020 <sup>1</sup>
② 入力レンジ	リミテッド

## RGB444 信号の場合:

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」の② を下記表の通りに設定します。
2. ColorNavigator 7 を起動し、カラーモード「PQ\_BT.2100」を右クリックし、「目標の編集」を選択。
3. カラーモードタイプの  をクリックし、「Advanced Mode」を選択。その下の「プリセット目標」で「PQ\_BT.2100」を選択します。
4. ① ~ ⑤、⑦ ~ ⑨の項目をそれぞれ下記表の通りに設定。
5. 最後に「キャリブレーション」を実行してください。

カラーモード: PQ_BT.2100	
RGB444	
① 輝度	1000 cd/m <sup>2</sup>
② 黒レベル	最小値
③ 白色点	D65
④ ガンマ (EOTF)	PQ
⑤ PQクリッピング	1000
⑦ 調整方法	標準
⑧ 色域	BT.2020
⑨ 色域クリッピング	✓
② 入力レンジ	フル

## ColorNavigator 目標の編集



## OSD 信号設定

<sup>1</sup> 規格上は BT.2020 を推奨しますが、機材やツールの設定によっては意図的に BT.709 の RGB to YUV 係数が適用される場合もあります。その際は機材やツールの設定に合わせて適切な設定を行ってください。

## 2.5

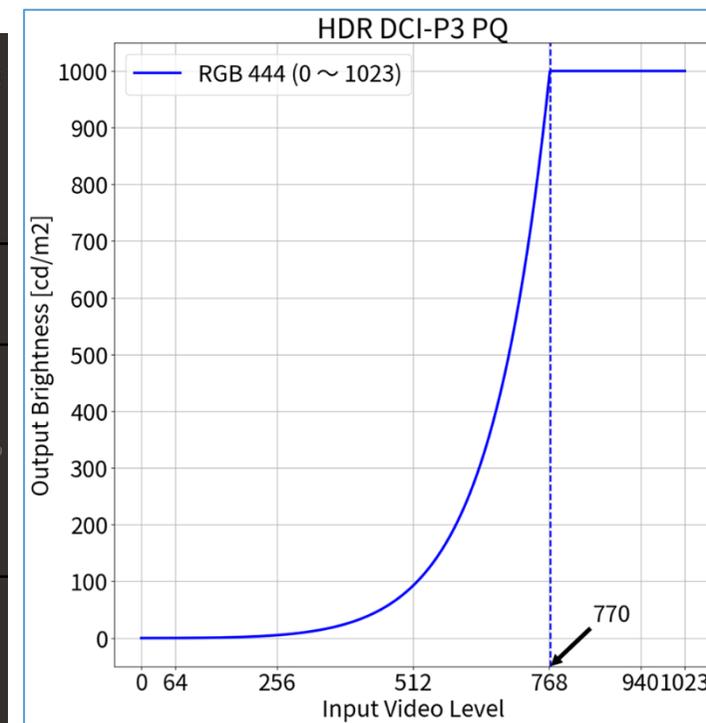
## ColorNavigator 7 での調整方法 - カラーモード: PQ\_DCI (HDR)

## RGB444 信号の場合:

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」の② を下記表の通りに設定します。
2. ColorNavigator 7 を起動し、カラーモード「PQ\_DCI」を右クリックし、「目標の編集」を選択。
3. カラーモードタイプの  をクリックし、「Advanced Mode」を選択。その下の「プリセット目標」で「PQ\_DCI」を選択します。
4. ① ~ ⑤、⑦ ~ ⑨ の項目をそれぞれ下記表の通りに設定。
5. 最後に「キャリブレーション」を実行してください。

カラーモード: PQ_DCI	
RGB444	
① 輝度	1000 cd/m <sup>2</sup>
② 黒レベル	最小値
③ 白色点	D65
④ ガンマ (EOTF)	PQ
⑤ PQクリッピング	1000
⑦ 調整方法	標準
⑧ 色域	DCI
⑨ 色域クリッピング	✓
② 入力レンジ	フル

## ColorNavigator 目標の編集



## OSD 信号設定

信号設定 (HDMI1)

カラーフォーマット	[ 自動 ]
YUVカラーマトリクス	[ ① ]
入力レンジ	[ ② ]
HDMI設定	
入力信号情報	
1920x1080 60.00 Hz	
リミテッドレンジ	
YCbCr4:2:2 10bit	
-	

## 2.6

ColorNavigator 7での調整方法 - カラーモード: HLG\_BT.2100 (HDR)

## YUV422 信号の場合:

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」の① ~ ② を下記表の通りに設定します。
2. ColorNavigator 7 を起動し、カラーモード「HLG\_BT.2100」を右クリックし、「目標の編集」を選択。
3. カラーモードタイプの  をクリックし、「Advanced Mode」を選択。その下の「プリセット目標」で「HLG\_BT.2100」を選択します。
4. ① ~ ④、⑥ ~ ⑨の項目をそれぞれ下記表の通りに設定。
5. 最後に「キャリブレーション」を実行してください。

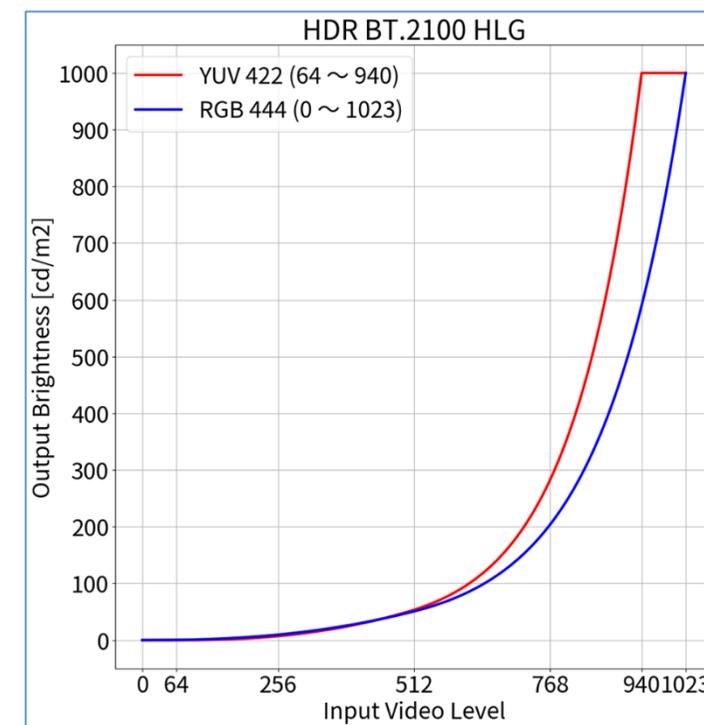
カラーモード: HLG_BT.2100	
YUV422	
① 輝度	1000 cd/m <sup>2</sup>
② 黒レベル	最小値
③ 白色点	D65
④ ガンマ (EOTF)	HLG
⑥ HLGシステムガンマ	1.2
⑦ 調整方法	ガンマ固定
⑧ 色域	BT.2020
⑨ 色域クリッピング	✓
① YUVカラーマトリクス	BT.2020 <sup>1</sup>
② 入力レンジ	リミテッド

## RGB444 信号の場合:

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」の② を下記表の通りに設定します。
2. ColorNavigator 7 を起動し、カラーモード「HLG\_BT.2100」を右クリックし、「目標の編集」を選択。
3. カラーモードタイプの  をクリックし、「Advanced Mode」を選択。その下の「プリセット目標」で「HLG\_BT.2100」を選択します。
4. ① ~ ④、⑥ ~ ⑨の項目をそれぞれ下記表の通りに設定。
5. 最後に「キャリブレーション」を実行してください。

カラーモード: HLG_BT.2100	
RGB444	
① 輝度	1000 cd/m <sup>2</sup>
② 黒レベル	最小値
③ 白色点	D65
④ ガンマ (EOTF)	HLG
⑥ HLGシステムガンマ	1.2
⑦ 調整方法	ガンマ固定
⑧ 色域	BT.2020
⑨ 色域クリッピング	✓
② 入力レンジ	フル

## ColorNavigator 目標の編集



## OSD 信号設定

<sup>1</sup> 規格上は BT.2020 を推奨しますが、機材やツールの設定によっては意図的に BT.709 の RGB to YUV 係数が適用される場合もあります。その際は機材やツールの設定に合わせて適切な設定を行ってください。

**YUV422 信号の場合:**

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」と「カラー調整」の項目を参照します。
2. 「信号設定」は ① ~ ②、「カラー調整」は ③ ~ ⑤ の項目をそれぞれ下記表の通りに設定します。

カラーモード: BT.2020	
<b>YUV422</b>	
① YUVカラーマトリクス	BT.2020 <sup>1</sup>
② 入力レンジ	リミテッド (109% 白)
③ カラーモード	BT.2020
④ 輝度	123 cd/m <sup>2</sup>
⑤ ガンマ (EOTF)	2.4

**RGB444 信号の場合:**

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」と「カラー調整」の項目を参照します。
2. 「信号設定」は ②、「カラー調整」は ③ ~ ⑤ の項目をそれぞれ下記表の通りに設定します。

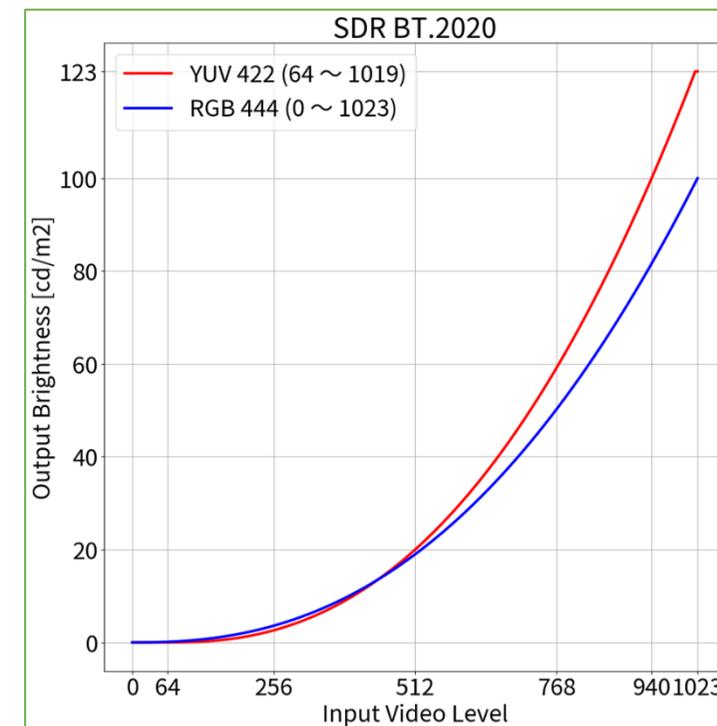
カラーモード: BT.2020	
<b>RGB444</b>	
② 入力レンジ	フル
③ カラーモード	BT.2020
④ 輝度	100 cd/m <sup>2</sup>
⑤ ガンマ (EOTF)	2.4

**信号設定**

信号設定 (HDMI1)	
カラーフォーマット	[ 自動 ]
YUVカラーマトリクス	[ ① ]
入力レンジ	[ ② ]
HDMI設定	
入力信号情報	
1920x1080 60.00 Hz	
リミテッドレンジ	
YCbCr4:2:2 10bit	
-	

**カラー調整**

カラー調整 (BT.709)	
カラーモード	[ ③ ]
輝度	[ ④ ]
色温度	[ D65 ]
ガンマ (EOTF)	[ ⑤ ]
PQ / HLG クリッピング	[ - ]
HLGシステムガンマ	[ - ]
色域	[ BT.709 ]
詳細設定	
リセット	



<sup>1</sup> 規格上は BT.2020 を推奨しますが、機材やツールの設定によっては意図的に BT.709 の RGB to YUV 係数が適用される場合もあります。その際は機材やツールの設定に合わせて適切な設定を行ってください。

**YUV422 信号の場合:**

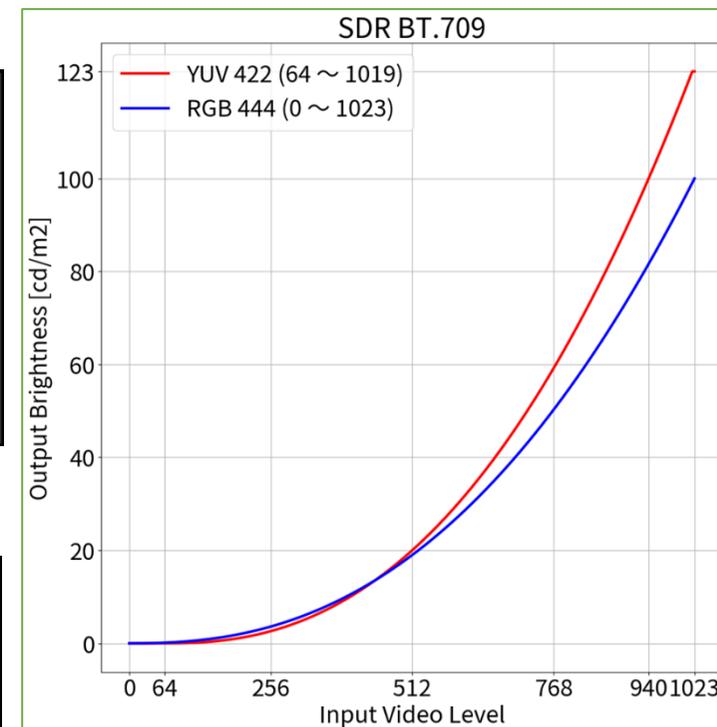
1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」と「カラー調整」の項目を参照します。
2. 「信号設定」は ① ~ ②、「カラー調整」は ③ ~ ⑤ の項目をそれぞれ下記表の通りに設定します。

カラーモード: BT.709	
<b>YUV422</b>	
① YUVカラーマトリクス	BT.709
② 入力レンジ	リミテッド (109% 白)
③ カラーモード	BT.709
④ 輝度	123 cd/m <sup>2</sup>
⑤ ガンマ (EOTF)	2.4

**RGB444 信号の場合:**

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」と「カラー調整」の項目を参照します。
2. 「信号設定」は ②、「カラー調整」は ③ ~ ⑤ の項目をそれぞれ下記表の通りに設定します。

カラーモード: BT.709	
<b>RGB444</b>	
② 入力レンジ	フル
③ カラーモード	BT.709
④ 輝度	100 cd/m <sup>2</sup>
⑤ ガンマ (EOTF)	2.4



**RGB444 信号の場合:**

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」と「カラー調整」の項目を参照します。
2. 「信号設定」は ②、「カラー調整」は ③ ~ ⑤ の項目をそれぞれ下記表の通りに設定します。

カラーモード: DCI

**RGB444**

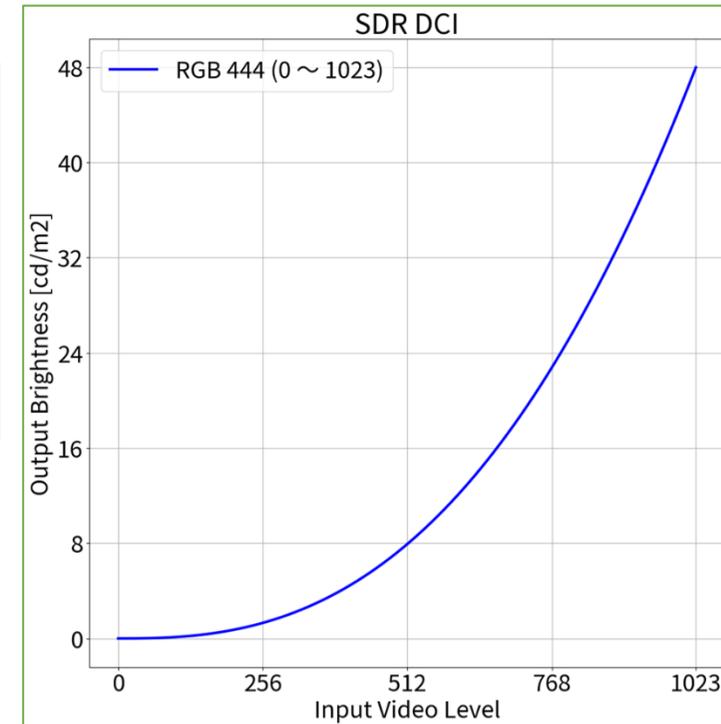
② 入力レンジ	フル
③ カラーモード	DCI
④ 輝度	48 cd/m <sup>2</sup>
⑤ ガンマ (EOTF)	2.6

**信号設定**

信号設定 (HDMI1)	
カラーフォーマット	[ 自動 ]
YUVカラーマトリクス	[ ① ]
入力レンジ	[ ② ]
HDMI設定	
入力信号情報	
1920x1080 60.00 Hz	
リミテッドレンジ	
YCbCr4:2:2 10bit	
-	

**カラー調整**

カラー調整 (BT. 709)	
カラーモード	[ ③ ]
輝度	[ ④ ]
色温度	[ D65 ]
ガンマ (EOTF)	[ ⑤ ]
PQ / HLG クリッピング	[ - ]
HLGシステムガンマ	[ - ]
色域	[ BT. 709 ]
詳細設定	
リセット	



## 1.4

OSD での調整方法 - カラーモード: PQ\_DCI (PQ / HLG クリッピング: 300 cd/m<sup>2</sup>) (HDR)

## RGB444 信号の場合:

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」と「カラー調整」の項目を参照します。
2. 「信号設定」は ②、「カラー調整」は ③ ~ ⑥ の項目をそれぞれ下記表の通りに設定します。

カラーモード: PQ-DCI (PQ クリッピング: 300 cd/m<sup>2</sup>)

## RGB444

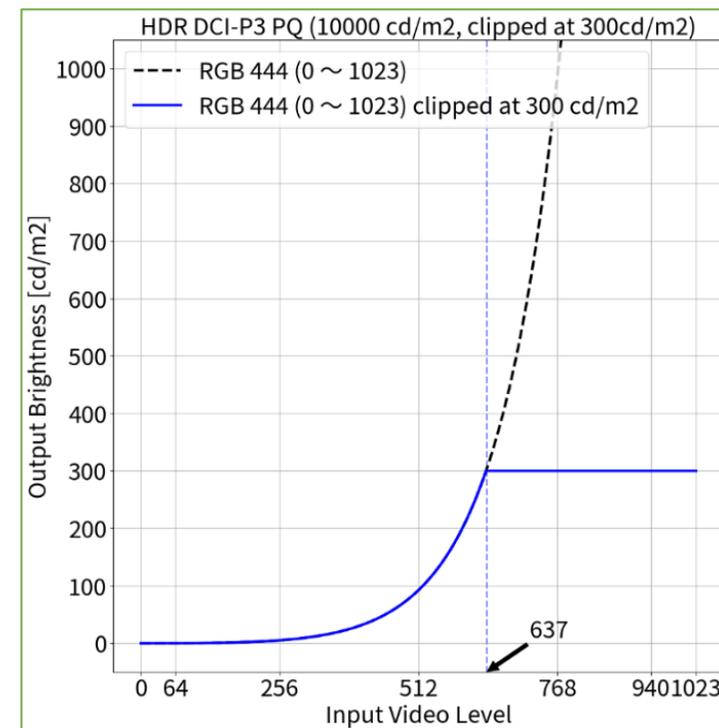
② 入力レンジ	フル
③ カラーモード	PQ_DCI
④ 輝度	300 cd/m <sup>2</sup>
⑤ ガンマ (EOTF)	PQ
⑥ PQ / HLG クリッピング	300 cd/m <sup>2</sup> <sup>3</sup>

## 信号設定

信号設定 (HDMI1)	
カラーフォーマット	[ 自動 ]
YUVカラーマトリクス	[ ① ]
入力レンジ	[ ② ]
HDMI設定	
入力信号情報	
1920x1080 60.00 Hz	
リミテッドレンジ	
YCbCr4:2:2 10bit	
-	

## カラー調整

カラー調整 (PQ_BT. 2100)	
カラーモード	[ ③ ]
輝度	[ ④ ]
色温度	[ D65 ]
ガンマ (EOTF)	[ ⑤ ]
PQ / HLG クリッピング	[ ⑥ ]
HLGシステムガンマ	[ - ]
色域	[ BT. 2020 ]
詳細設定	
リセット	



<sup>3</sup> モニターの最大輝度である 300cd/m<sup>2</sup> の階調まで PQ カーブを正しく階調表現を行うモードです。300 cd/m<sup>2</sup> の階調から上は白飛びさせて表示します。

## 1.5

OSD での調整方法 - カラーモード: PQ\_DCI (PQ / HLG クリッピング: 1000 cd/m<sup>2</sup>) (HDR)

## RGB444 信号の場合:

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」と「カラー調整」の項目を参照します。
2. 「信号設定」は ②、「カラー調整」は ③ ~ ⑥ の項目をそれぞれ下記表の通りに設定します。

カラーモード: PQ-DCI (PQ クリッピング: 1000 cd/m<sup>2</sup>)

## RGB444

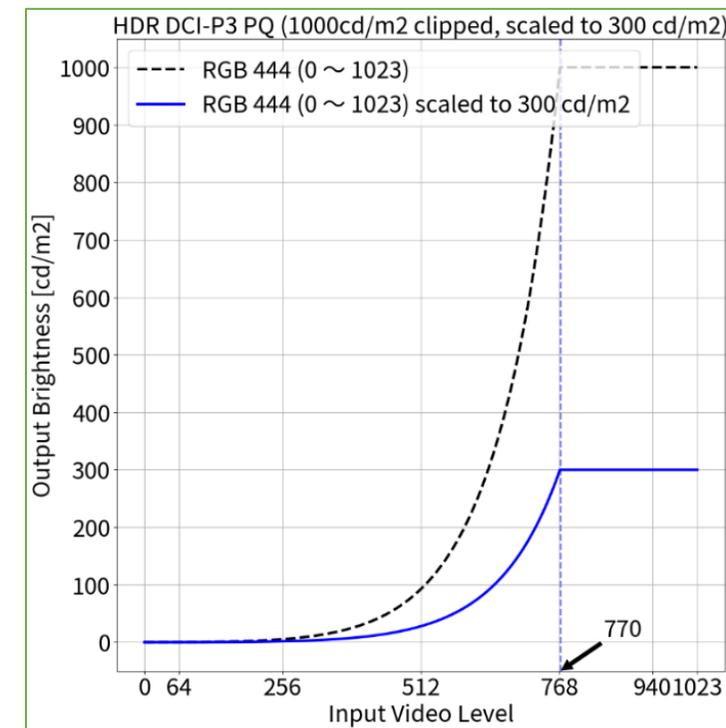
- |                   |                          |
|-------------------|--------------------------|
| ② 入力レンジ           | フル                       |
| ③ カラーモード          | PQ_DCI                   |
| ④ 輝度              | 300 cd/m <sup>2</sup>    |
| ⑤ ガンマ (EOTF)      | PQ                       |
| ⑥ PQ / HLG クリッピング | 1000 cd/m <sup>2</sup> 4 |

## 信号設定

信号設定 (HDMI1)	
カラーフォーマット	[ 自動 ]
YUVカラーマトリクス	[ ① ]
入力レンジ	[ ② ]
HDMI設定	
入力信号情報	
1920x1080 60.00 Hz	
リミテッドレンジ	
YCbCr4:2:2 10bit	
-	

## カラー調整

カラー調整 (PQ_BT, 2100)	
カラーモード	[ ③ ]
輝度	[ ④ ]
色温度	[ D65 ]
ガンマ (EOTF)	[ ⑤ ]
PQ / HLG クリッピング	[ ⑥ ]
HLGシステムガンマ	[ - ]
色域	[ BT, 2020 ]
詳細設定	
リセット	



4 300cd/m<sup>2</sup> の階調から上の白飛びを抑え、擬似的に 1000cd/m<sup>2</sup> のリファレンスマニターの階調表現を再現するモードです。

## 1.6

OSD での調整方法 - カラーモード: PQ\_BT.2100 (PQ / HLG クリッピング: 300 cd/m<sup>2</sup>) (HDR)**YUV422 信号の場合:**

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」と「カラー調整」の項目を参照します。
2. 「信号設定」は ① ~ ②、「カラー調整」は ③ ~ ⑥ の項目をそれぞれ下記表の通りに設定します。

カラーモード: PQ_BT.2100 (PQ クリッピング: 300 cd/m <sup>2</sup> )	
<b>YUV422</b>	
① YUVカラーマトリクス	BT.2020 <sup>1</sup>
② 入力レンジ	リミテッド
③ カラーモード	PQ_BT.2100
④ 輝度	300 cd/m <sup>2</sup>
⑤ ガンマ (EOTF)	PQ
⑥ PQ / HLG クリッピング	300 cd/m <sup>2</sup> <sup>3</sup>

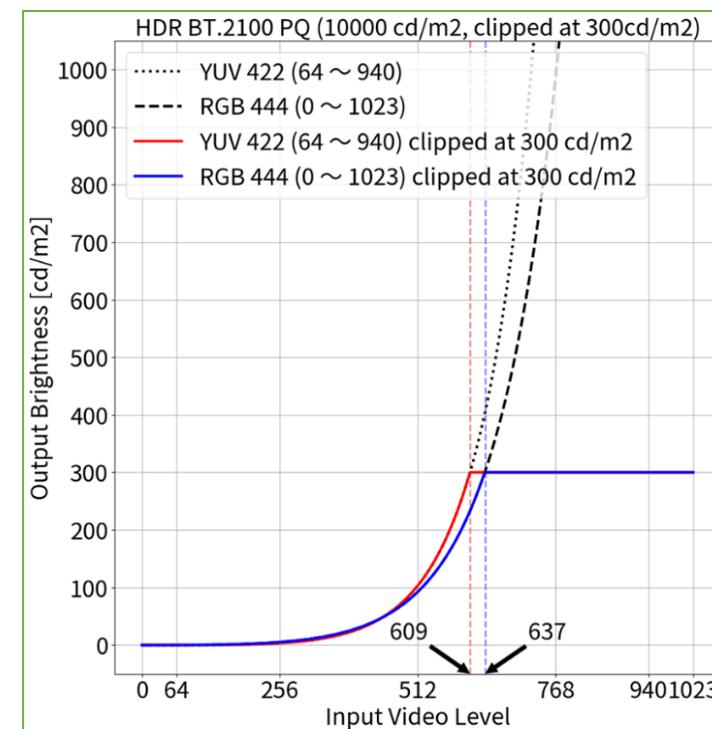
信号設定	
信号設定 (HDMI1)	
カラーフォーマット	[ 自動 ]
YUVカラーマトリクス	[ ① ]
入力レンジ	[ ② ]
HDMI設定	
入力信号情報	
1920x1080 60.00 Hz	
リミテッドレンジ	
YCbCr4:2:2 10bit	
-	

**RGB444 信号の場合:**

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」と「カラー調整」の項目を参照します。
2. 「信号設定」は ②、「カラー調整」は ③ ~ ⑥ の項目をそれぞれ下記表の通りに設定します。

カラーモード: PQ_BT.2100 (PQ クリッピング: 300 cd/m <sup>2</sup> )	
<b>RGB444</b>	
② 入力レンジ	フル
③ カラーモード	PQ_BT.2100
④ 輝度	300 cd/m <sup>2</sup>
⑤ ガンマ (EOTF)	PQ
⑥ PQ / HLG クリッピング	300 cd/m <sup>2</sup> <sup>3</sup>

カラー調整	
カラー調整 (PQ_BT.2100)	
カラーモード	[ ③ ]
輝度	[ ④ ]
色温度	[ D65 ]
ガンマ (EOTF)	[ ⑤ ]
PQ / HLG クリッピング	[ ⑥ ]
HLGシステムガンマ	[ - ]
色域	[ BT.2020 ]
詳細設定	
リセット	



<sup>1</sup> 規格上は BT.2020 を推奨しますが、機材やツールの設定によっては意図的に BT.709 の RGB to YUV 係数が適用される場合もあります。その際は機材やツールの設定に合わせて適切な設定を行ってください。

<sup>3</sup> モニターの最大輝度である 300cd/m<sup>2</sup> の階調まで PQ カーブを正しく階調表現を行うモードです。300 cd/m<sup>2</sup> の階調から上は白飛びさせて表示します。

## 1.7

OSD での調整方法 - カラーモード: PQ\_BT.2100 (PQ / HLG クリッピング: 1000 cd/m<sup>2</sup>) (HDR)

## YUV422 信号の場合:

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」と「カラー調整」の項目を参照します。
2. 「信号設定」は ① ~ ②、「カラー調整」は ③ ~ ⑥ の項目をそれぞれ下記表の通りに設定します。

カラーモード: PQ_BT.2100 (PQ クリッピング: 1000 cd/m <sup>2</sup> )	
<b>YUV422</b>	
① YUVカラーマトリクス	BT.2020 <sup>1</sup>
② 入力レンジ	リミテッド
③ カラーモード	PQ_BT.2100
④ 輝度	300 cd/m <sup>2</sup>
⑤ ガンマ (EOTF)	PQ
⑥ PQ / HLG クリッピング	1000 cd/m <sup>2</sup> <sup>4</sup>

## RGB444 信号の場合:

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」と「カラー調整」の項目を参照します。
2. 「信号設定」は ②、「カラー調整」は ③ ~ ⑥ の項目をそれぞれ下記表の通りに設定します。

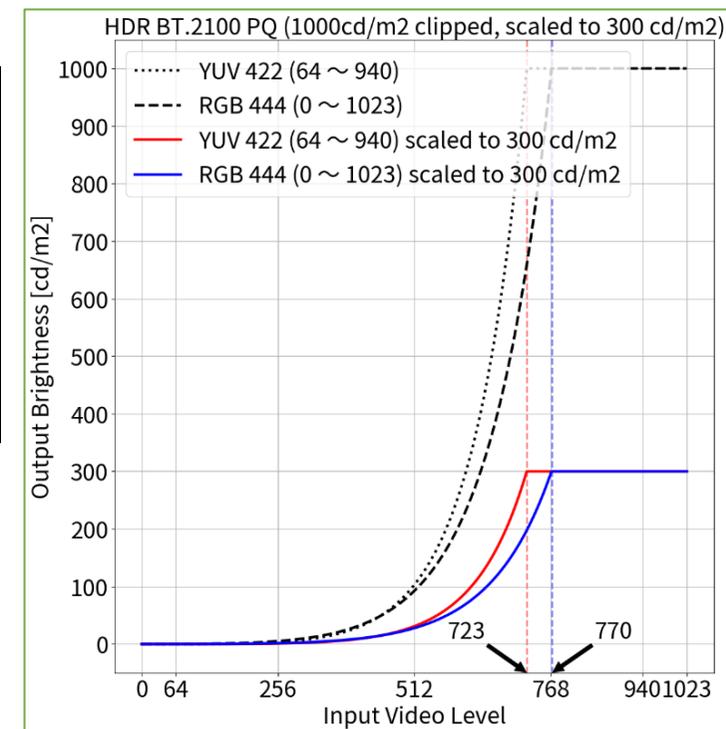
カラーモード: PQ_BT.2100 (PQ クリッピング: 1000 cd/m <sup>2</sup> )	
<b>RGB444</b>	
② 入力レンジ	フル
③ カラーモード	PQ_BT.2100
④ 輝度	300 cd/m <sup>2</sup>
⑤ ガンマ (EOTF)	PQ
⑥ PQ / HLG クリッピング	1000 cd/m <sup>2</sup> <sup>4</sup>

## 信号設定

信号設定 (HDMI1)	
カラーフォーマット	[ 自動 ]
YUVカラーマトリクス	[ ① ]
入力レンジ	[ ② ]
HDMI設定	
入力信号情報	
1920x1080 60.00 Hz	
リミテッドレンジ	
YCbCr4:2:2 10bit	
-	

## カラー調整

カラー調整 (PQ_BT.2100)	
カラーモード	[ ③ ]
輝度	[ ④ ]
色温度	[ D65 ]
ガンマ (EOTF)	[ ⑤ ]
PQ / HLG クリッピング	[ ⑥ ]
HLGシステムガンマ	[ - ]
色域	[ BT.2020 ]
詳細設定	
リセット	



<sup>1</sup> 規格上は BT.2020 を推奨しますが、機材やツールの設定によっては意図的に BT.709 の RGB to YUV 係数が適用される場合もあります。その際は機材やツールの設定に合わせて適切な設定を行ってください。

<sup>4</sup> 300cd/m<sup>2</sup> の階調から上の白飛びを抑え、擬似的に 1000cd/m<sup>2</sup> のリファレンスモニターの階調表現を再現するモードです。

## 1.8

## OSD での調整方法 - カラーモード: HLG\_BT.2100 (PQ / HLG クリッピング: ON) (HDR)

## YUV422 信号の場合:

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」と「カラー調整」の項目を参照します。
2. 「信号設定」は ① ~ ②、「カラー調整」は ③ ~ ⑦ の項目をそれぞれ下記表の通りに設定します。

カラーモード: HLG_BT.2100 (PQ / HLG クリッピング: ON)	
<b>YUV422</b>	
① YUVカラーマトリクス	BT.2020 <sup>1</sup>
② 入力レンジ	リミテッド
③ カラーモード	HLG_BT.2100
④ 輝度	300 cd/m <sup>2</sup>
⑤ ガンマ (EOTF)	HLG
⑥ PQ / HLG クリッピング	ON <sup>2</sup>
⑦ HLGシステムガンマ	1.2

## RGB444 信号の場合:

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」と「カラー調整」の項目を参照します。
2. 「信号設定」は ②、「カラー調整」は ③ ~ ⑦ の項目をそれぞれ下記表の通りに設定します。

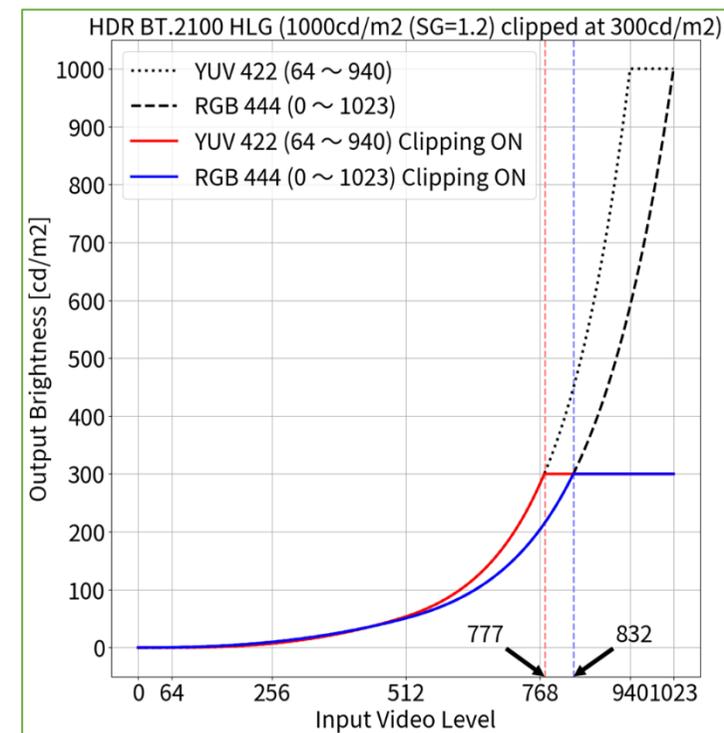
カラーモード: HLG_BT.2100 (PQ / HLG クリッピング: ON)	
<b>RGB444</b>	
② 入力レンジ	フル
③ カラーモード	HLG_BT.2100
④ 輝度	300 cd/m <sup>2</sup>
⑤ ガンマ (EOTF)	HLG
⑥ PQ / HLG クリッピング	ON <sup>2</sup>
⑦ HLGシステムガンマ	1.2

## 信号設定

信号設定 (HDMI1)	
カラーフォーマット	[ 自動 ]
YUVカラーマトリクス	[ ① ]
入力レンジ	[ ② ]
HDMI設定	
入力信号情報	
1920x1080 60.00 Hz	
リミテッドレンジ	
YCbCr4:2:2 10bit	
-	

## カラー調整

カラー調整 (HLG_BT.2100)	
カラーモード	[ ③ ]
輝度	[ ④ ]
色温度	[ D65 ]
ガンマ (EOTF)	[ ⑤ ]
PQ / HLG クリッピング	[ ⑥ ]
HLGシステムガンマ	[ ⑦ ]
色域	[ BT.2020 ]
詳細設定	
リセット	



<sup>1</sup> 規格上は BT.2020 を推奨しますが、機材やツールの設定によっては意図的に BT.709 の RGB to YUV 係数が適用される場合もあります。その際は機材やツールの設定に合わせて適切な設定を行ってください。

<sup>2</sup> モニターの最大輝度である 300cd/m<sup>2</sup> の階調まで 1000cd/m<sup>2</sup> のリファレンスモニターと同等の階調表現を行うモードです。300 cd/m<sup>2</sup> の階調から上は白飛びさせて表示します。

## 1.9

## OSD での調整方法 - カラーモード: HLG\_BT.2100 (PQ / HLG クリッピング: OFF) (HDR)

YUV422 信号の場合:

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」と「カラー調整」の項目を参照します。
2. 「信号設定」は ① ~ ②、「カラー調整」は ③ ~ ⑦ の項目をそれぞれ下記表の通りに設定します。

カラーモード: HLG_BT.2100 (PQ / HLG クリッピング: OFF)	
<b>YUV422</b>	
① YUVカラーマトリクス	BT.2020 <sup>1</sup>
② 入力レンジ	リミテッド
③ カラーモード	HLG_BT.2100
④ 輝度	300 cd/m <sup>2</sup>
⑤ ガンマ (EOTF)	HLG
⑥ PQ / HLG クリッピング	OFF <sup>4</sup>
⑦ HLGシステムガンマ	1.0

RGB444 信号の場合:

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」と「カラー調整」の項目を参照します。
2. 「信号設定」は ②、「カラー調整」は ③ ~ ⑦ の項目をそれぞれ下記表の通りに設定します。

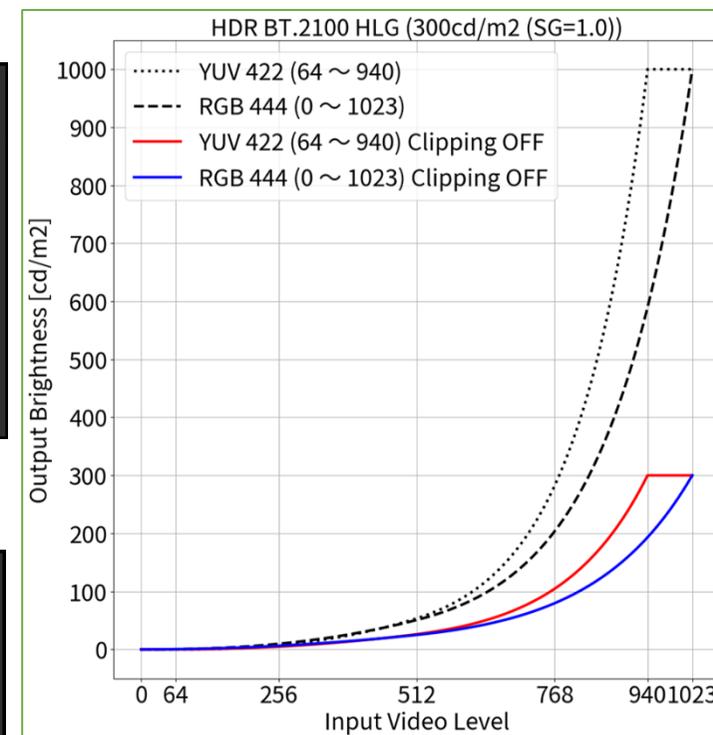
カラーモード: HLG_BT.2100 (PQ / HLG クリッピング: OFF)	
<b>RGB444</b>	
② 入力レンジ	フル
③ カラーモード	HLG_BT.2100
④ 輝度	300 cd/m <sup>2</sup>
⑤ ガンマ (EOTF)	HLG
⑥ PQ / HLG クリッピング	OFF <sup>4</sup>
⑦ HLGシステムガンマ	1.0

## 信号設定

信号設定 (HDMI1)	
カラーフォーマット	[ 自動 ]
YUVカラーマトリクス	[ ① ]
入力レンジ	[ ② ]
HDMI設定	
入力信号情報	
1920x1080 60.00 Hz	
リミテッドレンジ	
YCbCr4:2:2 10bit	
-	

## カラー調整

カラー調整 (HLG_BT.2100)	
カラーモード	[ ③ ]
輝度	[ ④ ]
色温度	[ D65 ]
ガンマ (EOTF)	[ ⑤ ]
PQ / HLG クリッピング	[ ⑥ ]
HLGシステムガンマ	[ ⑦ ]
色域	[ BT.2020 ]
詳細設定	
リセット	



<sup>1</sup> 規格上は BT.2020 を推奨しますが、機材やツールの設定によっては意図的に BT.709 の RGB to YUV 係数が適用される場合もあります。その際は機材やツールの設定に合わせて適切な設定を行ってください。

<sup>4</sup> 300cd/m<sup>2</sup> の階調から上の白飛びを抑え、擬似的に 1000cd/m<sup>2</sup> のリファレンスモニターの階調表現を再現するモードです。

## 2.1

## ColorNavigator 7での調整方法 - カラーモード: BT.2020 (SDR)

## YUV422 信号の場合:

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」の① ~ ② を下記表の通りに設定します。
2. ColorNavigator 7 を起動し、カラーモード「BT.2020」を右クリックし、「目標の編集」を選択。
3. カラーモードタイプの  をクリックし、「Advanced Mode」を選択。その下の「プリセット目標」で「BT.2020」を選択します。
4. ① ~ ④、⑦ ~ ⑨の項目をそれぞれ下記表の通りに設定。
5. 最後に「キャリブレーション」を実行してください。

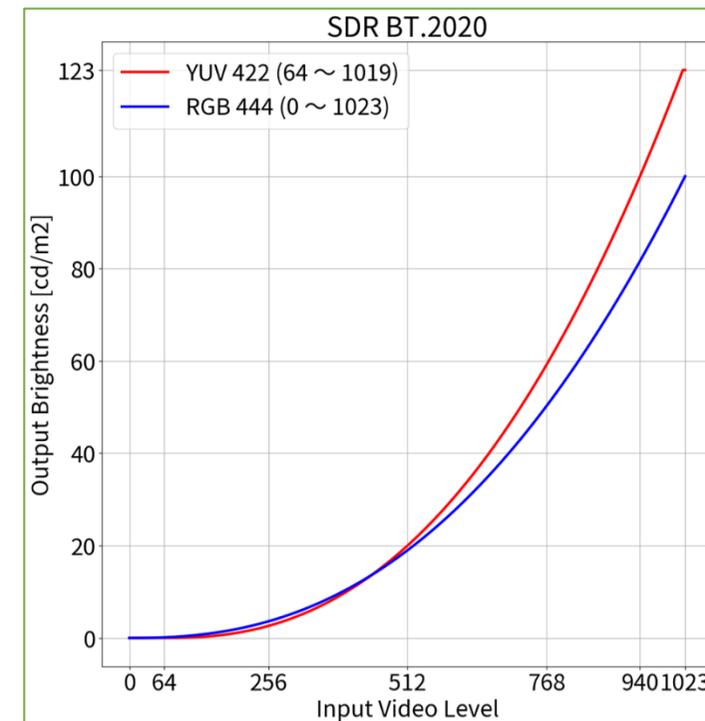
カラーモード: BT.2020	
YUV422	
① 輝度	123 cd/m <sup>2</sup>
② 黒レベル	最小値
③ 白色点	D65
④ ガンマ (EOTF)	2.4
⑦ 調整方法	標準
⑧ 色域	BT.2020
⑨ 色域クリッピング	✓
① YUVカラーマトリクス	BT.2020 <sup>1</sup>
② 入力レンジ	リミテッド (109% 白)

## RGB444 信号の場合:

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」の② を下記表の通りに設定します。
2. ColorNavigator 7 を起動し、カラーモード「BT.2020」を右クリックし、「目標の編集」を選択。
3. カラーモードタイプの  をクリックし、「Advanced Mode」を選択。その下の「プリセット目標」で「BT.2020」を選択します。
4. ① ~ ④、⑦ ~ ⑨の項目をそれぞれ下記表の通りに設定。
5. 最後に「キャリブレーション」を実行してください。

カラーモード: BT.2020	
RGB444	
① 輝度	100 cd/m <sup>2</sup>
② 黒レベル	最小値
③ 白色点	D65
④ ガンマ (EOTF)	2.4
⑦ 調整方法	標準
⑧ 色域	BT.2020
⑨ 色域クリッピング	✓
② 入力レンジ	フル

## ColorNavigator 目標の編集

## OSD 信号設定



<sup>1</sup> 規格上は BT.2020 を推奨しますが、機材やツールの設定によっては意図的に BT.709 の RGB to YUV 係数が適用される場合もあります。その際は機材やツールの設定に合わせて適切な設定を行ってください。

## 2.2

ColorNavigator 7での調整方法 - カラーモード: BT.709 (SDR)

## YUV422 信号の場合:

1. モニター前面ボタンからOSDメニューを開き、「信号設定」の①～②を下記表の通りに設定します。
2. ColorNavigator 7 を起動し、カラーモード「BT.709」を右クリックし、「目標の編集」を選択。
3. カラーモードタイプの  をクリックし、「Advanced Mode」を選択。その下の「プリセット目標」で「BT.709」を選択します。
4. ①～④、⑦～⑨の項目をそれぞれ下記表の通りに設定。
5. 最後に「キャリブレーション」を実行してください。

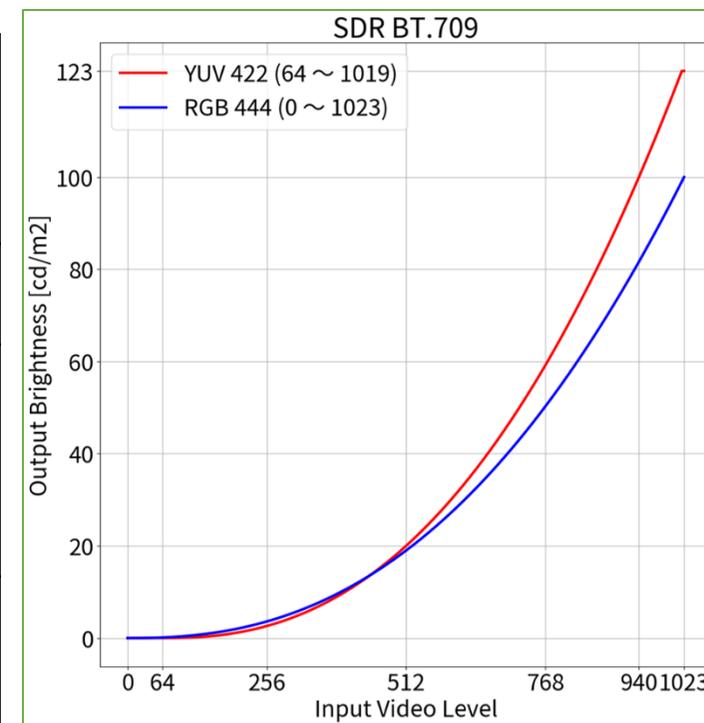
カラーモード: BT.709	
YUV422	
① 輝度	123 cd/m <sup>2</sup>
② 黒レベル	最小値
③ 白色点	D65
④ ガンマ (EOTF)	2.4
⑦ 調整方法	標準
⑧ 色域	BT.709
⑨ 色域クリッピング	✓
① YUVカラーマトリクス	BT.709
② 入力レンジ	リミテッド (109% 白)

## RGB444 信号の場合:

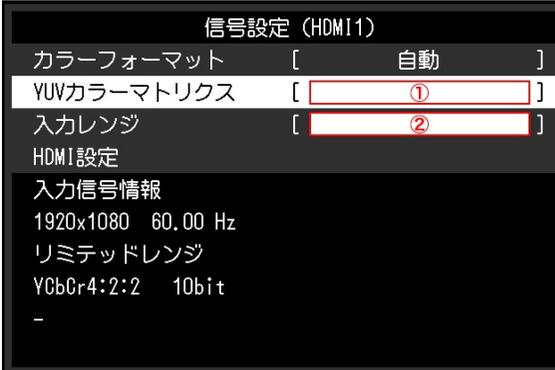
1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」の②を下記表の通りに設定します。
2. ColorNavigator 7 を起動し、カラーモード「BT.709」を右クリックし、「目標の編集」を選択。
3. カラーモードタイプの  をクリックし、「Advanced Mode」を選択。その下の「プリセット目標」で「BT.709」を選択します。
4. ①～④、⑦～⑨の項目をそれぞれ下記表の通りに設定。
5. 最後に「キャリブレーション」を実行してください。

カラーモード: BT.709	
RGB444	
① 輝度	100 cd/m <sup>2</sup>
② 黒レベル	最小値
③ 白色点	D65
④ ガンマ (EOTF)	2.4
⑦ 調整方法	標準
⑧ 色域	BT.709
⑨ 色域クリッピング	✓
② 入力レンジ	フル

## ColorNavigator 目標の編集

## OSD 信号設定



## 2.3

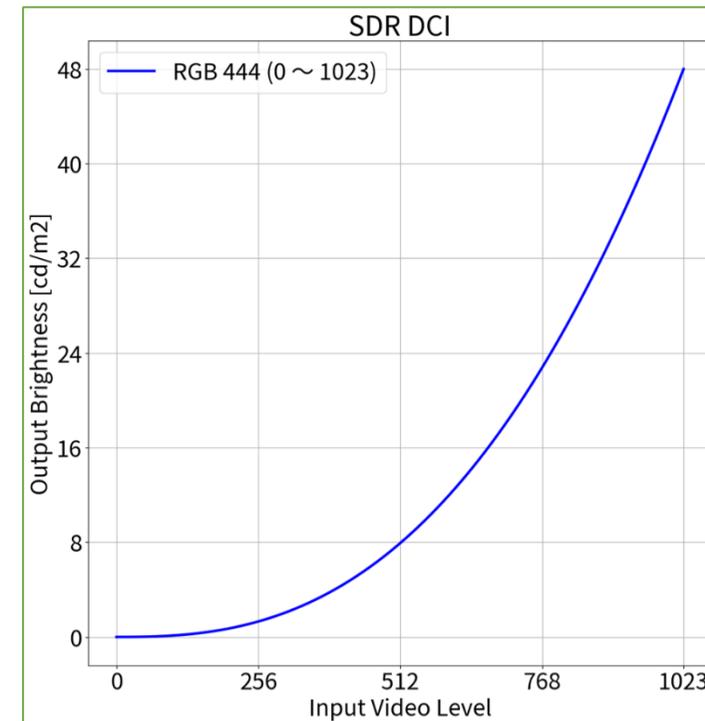
## ColorNavigator 7での調整方法 - カラーモード: DCI (SDR)

## RGB444 信号の場合:

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」の②を下記表の通りに設定します。
2. ColorNavigator 7 を起動し、カラーモード「DCI」を右クリックし、「目標の編集」を選択。
3. カラーモードタイプの  をクリックし、「Advanced Mode」を選択。その下の「プリセット目標」で「DCI」を選択します。
4. ① ~ ④、⑦ ~ ⑨の項目をそれぞれ下記表の通りに設定。
5. 最後に「キャリブレーション」を実行してください。

カラーモード: DCI	
RGB444	
① 輝度	48 cd/m <sup>2</sup>
② 黒レベル	最小値
③ 白色点	D65
④ ガンマ (EOTF)	2.6
⑦ 調整方法	標準
⑧ 色域	DCI
⑨ 色域クリッピング	✓
② 入力レンジ	フル

## ColorNavigator 目標の編集



## OSD 信号設定

## 2.4

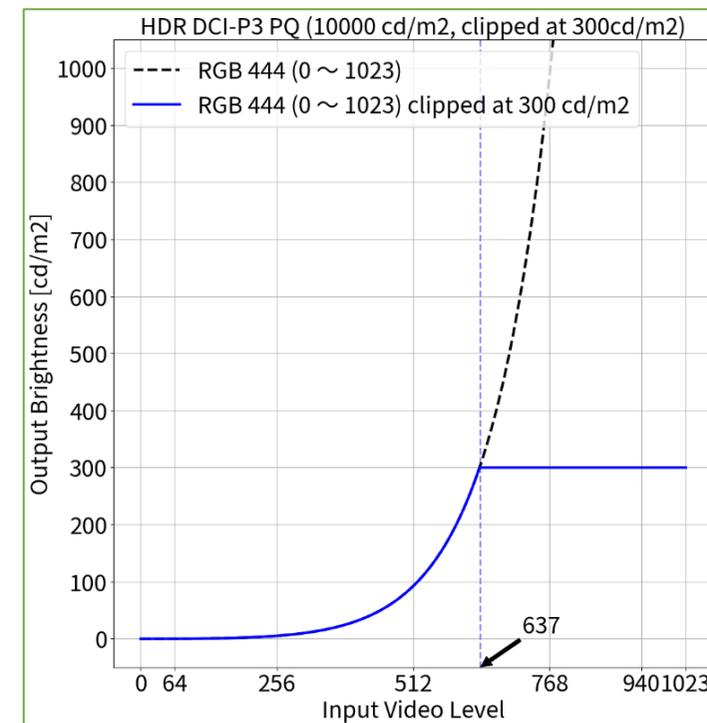
ColorNavigator 7 での調整方法 - カラーモード: PQ\_DCI (PQ クリッピング: 300 cd/m<sup>2</sup>) (HDR)

## RGB444 信号の場合:

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」の② を下記表の通りに設定します。
2. ColorNavigator 7 を起動し、カラーモード「PQ\_DCI」を右クリックし、「目標の編集」を選択。
3. カラーモードタイプの  をクリックし、「Advanced Mode」を選択。その下の「プリセット目標」で「PQ\_DCI」を選択します。
4. ① ~ ⑤、⑦ ~ ⑨の項目をそれぞれ下記表の通りに設定。
5. 最後に「キャリブレーション」を実行してください。

カラーモード: PQ_DCI (PQクリッピング: 300 cd/m <sup>2</sup> )	
RGB444	
① 輝度	300 cd/m <sup>2</sup>
② 黒レベル	最小値
③ 白色点	D65
④ ガンマ (EOTF)	PQ
⑤ PQクリッピング	300 cd/m <sup>2</sup> <sup>3</sup>
⑦ 調整方法	標準
⑧ 色域	DCI
⑨ 色域クリッピング	✓
② 入力レンジ	フル

## ColorNavigator 目標の編集



## OSD 信号設定

信号設定 (HDMI 1)

カラーフォーマット [ 自動 ]

YUVカラーマトリクス [ ① ]

入力レンジ [ ② ]

HDMI設定

入力信号情報  
1920x1080 60.00 Hz  
リミテッドレンジ  
YCbCr4:2:2 10bit

<sup>3</sup> モニターの最大輝度である 300cd/m<sup>2</sup> の階調まで PQ カーブを正しく階調表現を行うモードです。300 cd/m<sup>2</sup> の階調から上は白飛びさせて表示します。

## 2.5

ColorNavigator 7での調整方法 - カラーモード: PQ\_DCI (PQ クリッピング: 1000 cd/m<sup>2</sup>) (HDR)

## RGB444 信号の場合:

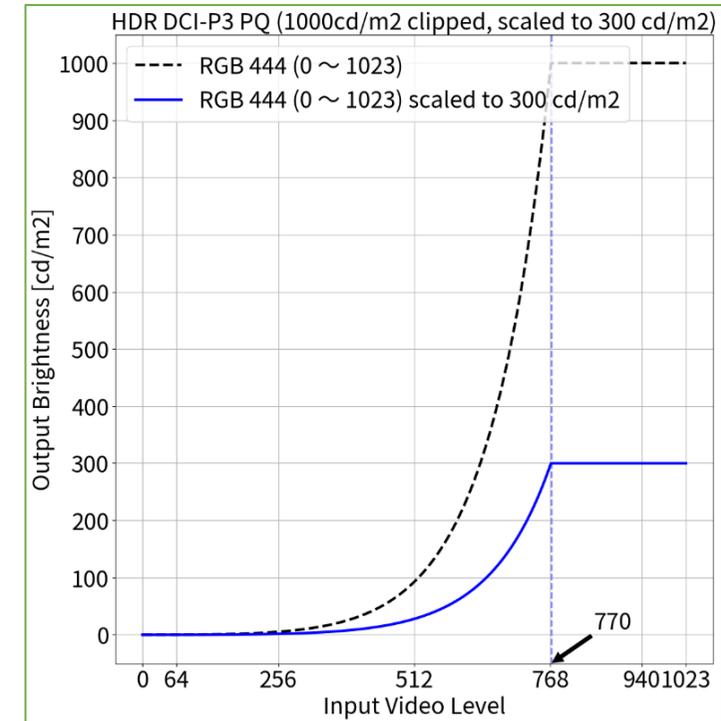
1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」の②を下記表の通りに設定します。
2. ColorNavigator 7 を起動し、カラーモード「PQ\_DCI」を右クリックし、「目標の編集」を選択。
3. カラーモードタイプの  をクリックし、「Advanced Mode」を選択。その下の「プリセット目標」で「PQ\_DCI」を選択します。
4. ① ~ ⑤、⑦ ~ ⑨の項目をそれぞれ下記表の通りに設定。
5. 最後に「キャリブレーション」を実行してください。

カラーモード: PQ\_DCI (PQクリッピング: 1000 cd/m<sup>2</sup>)

## RGB444

① 輝度	300 cd/m <sup>2</sup>
② 黒レベル	最小値
③ 白色点	D65
④ ガンマ (EOTF)	PQ
⑤ PQクリッピング	1000 cd/m <sup>2</sup> <sup>4</sup>
⑦ 調整方法	標準
⑧ 色域	DCI
⑨ 色域クリッピング	✓
② 入力レンジ	フル

## ColorNavigator 目標の編集



## OSD 信号設定

<sup>4</sup> 300cd/m<sup>2</sup> の階調から上の白飛びを抑え、擬似的に 1000cd/m<sup>2</sup> のリファレンスマニターの階調表現を再現するモードです。

## 2.6

ColorNavigator 7での調整方法 - カラーモード: PQ\_BT.2100 (PQ クリッピング: 300 cd/m<sup>2</sup>) (HDR)

## YUV422 信号の場合:

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」の① ~ ② を下記表の通りに設定します。
2. ColorNavigator 7 を起動し、カラーモード「PQ\_BT.2100」を右クリックし、「目標の編集」を選択。
3. カラーモードタイプの  をクリックし、「Advanced Mode」を選択。その下の「プリセット目標」で「PQ\_BT.2100」を選択します。
4. ① ~ ⑤、⑦ ~ ⑨の項目をそれぞれ下記表の通りに設定。
5. 最後に「キャリブレーション」を実行してください。

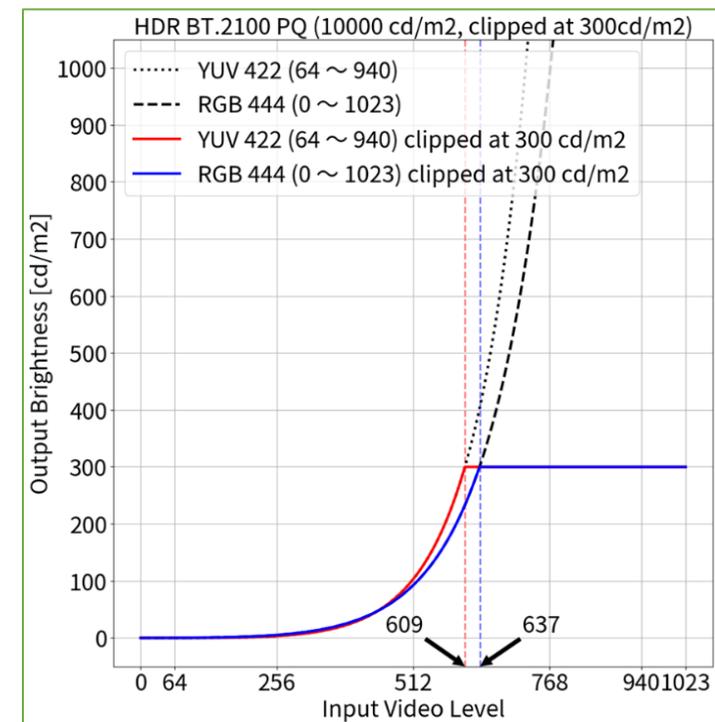
カラーモード: PQ_BT.2100 (PQクリッピング: 300 cd/m <sup>2</sup> )	
YUV422	
① 輝度	300 cd/m <sup>2</sup>
② 黒レベル	最小値
③ 白色点	D65
④ ガンマ (EOTF)	PQ
⑤ PQクリッピング	300 cd/m <sup>2</sup> <sup>3</sup>
⑦ 調整方法	標準
⑧ 色域	BT.2020
⑨ 色域クリッピング	✓
① YUVカラーマトリクス	BT.2020 <sup>1</sup>
② 入力レンジ	リミテッド

## RGB444 信号の場合:

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」の② を下記表の通りに設定します。
2. ColorNavigator 7 を起動し、カラーモード「PQ\_BT.2100」を右クリックし、「目標の編集」を選択。
3. カラーモードタイプの  をクリックし、「Advanced Mode」を選択。その下の「プリセット目標」で「PQ\_BT.2100」を選択します。
4. ① ~ ⑤、⑦ ~ ⑨の項目をそれぞれ下記表の通りに設定。
5. 最後に「キャリブレーション」を実行してください。

カラーモード: PQ_BT.2100 (PQクリッピング: 300 cd/m <sup>2</sup> )	
RGB444	
① 輝度	300 cd/m <sup>2</sup>
② 黒レベル	最小値
③ 白色点	D65
④ ガンマ (EOTF)	PQ
⑤ PQクリッピング	300 cd/m <sup>2</sup> <sup>3</sup>
⑦ 調整方法	標準
⑧ 色域	BT.2020
⑨ 色域クリッピング	✓
② 入力レンジ	フル

## ColorNavigator 目標の編集



## OSD 信号設定

- 1 規格上は BT.2020 を推奨しますが、機材やツールの設定によっては意図的に BT.709 の RGB to YUV 係数が適用される場合もあります。その際は機材やツールの設定に合わせて適切な設定を行ってください。
- 3 モニターの最大輝度である 300cd/m<sup>2</sup> の階調まで PQ カーブを正しく階調表現を行うモードです。300 cd/m<sup>2</sup> の階調から上は白飛びさせて表示します。

## 2.7

ColorNavigator 7 での調整方法 - カラーモード: PQ\_BT.2100 (PQ Clipping: 1000 cd/m<sup>2</sup>) (HDR)

## YUV422 信号の場合:

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」の① ~ ② を下記表の通りに設定します。
2. ColorNavigator 7 を起動し、カラーモード「PQ\_BT.2100」を右クリックし、「目標の編集」を選択。
3. カラーモードタイプの  をクリックし、「Advanced Mode」を選択。その下の「プリセット目標」で「PQ\_BT.2100」を選択します。
4. ① ~ ⑤、⑦ ~ ⑨の項目をそれぞれ下記表の通りに設定。
5. 最後に「キャリブレーション」を実行してください。

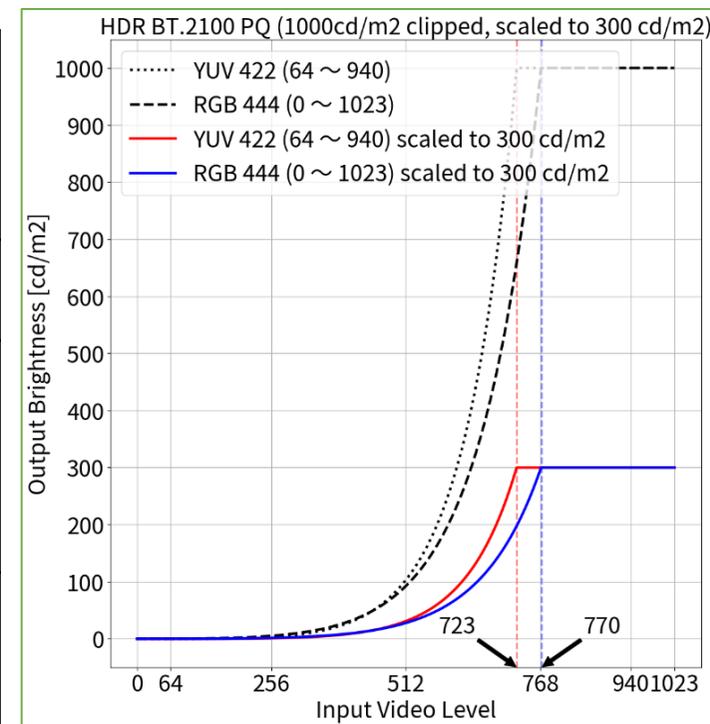
カラーモード: PQ_BT.2100 (PQクリッピング: 1000 cd/m <sup>2</sup> )	
YUV422	
① 輝度	300 cd/m <sup>2</sup>
② 黒レベル	最小値
③ 白色点	D65
④ ガンマ (EOTF)	PQ
⑤ PQクリッピング	1000 cd/m <sup>2</sup> <sup>4</sup>
⑦ 調整方法	標準
⑧ 色域	BT.2020
⑨ 色域クリッピング	✓
① YUVカラーマトリクス	BT.2020 <sup>1</sup>
② 入力レンジ	リミテッド

## RGB444 信号の場合:

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」の② を下記表の通りに設定します。
2. ColorNavigator 7 を起動し、カラーモード「PQ\_BT.2100」を右クリックし、「目標の編集」を選択。
3. カラーモードタイプの  をクリックし、「Advanced Mode」を選択。その下の「プリセット目標」で「PQ\_BT.2100」を選択します。
4. ① ~ ⑤、⑦ ~ ⑨の項目をそれぞれ下記表の通りに設定。
5. 最後に「キャリブレーション」を実行してください。

カラーモード: PQ_BT.2100 (PQクリッピング: 1000 cd/m <sup>2</sup> )	
RGB444	
① 輝度	300 cd/m <sup>2</sup>
② 黒レベル	最小値
③ 白色点	D65
④ ガンマ (EOTF)	PQ
⑤ PQクリッピング	1000 cd/m <sup>2</sup> <sup>4</sup>
⑦ 調整方法	標準
⑧ 色域	BT.2020
⑨ 色域クリッピング	✓
② 入力レンジ	フル

## ColorNavigator 目標の編集



## OSD 信号設定

<sup>1</sup> 規格上は BT.2020 を推奨しますが、機材やツールの設定によっては意図的に BT.709 の RGB to YUV 係数が適用される場合もあります。その際は機材やツールの設定に合わせて適切な設定を行ってください。

<sup>4</sup> 300cd/m<sup>2</sup> の階調から上の白飛びを抑え、擬似的に 1000cd/m<sup>2</sup> のリファレンスモニターの階調表現を再現するモードです。

## 2.8

## ColorNavigator 7での調整方法 - カラーモード: HLG\_BT.2100 (HLG クリッピング: ON) (HDR)

## YUV422 信号の場合:

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」の① ~ ② を下記表の通りに設定します。
2. ColorNavigator 7 を起動し、カラーモード「HLG\_BT.2100」を右クリックし、「目標の編集」を選択。
3. カラーモードタイプの  をクリックし、「Advanced Mode」を選択。その下の「プリセット目標」で「HLG\_BT.2100」を選択します。
4. ① ~ ⑨の項目をそれぞれ下記表の通りに設定。
5. 最後に「キャリブレーション」を実行してください。

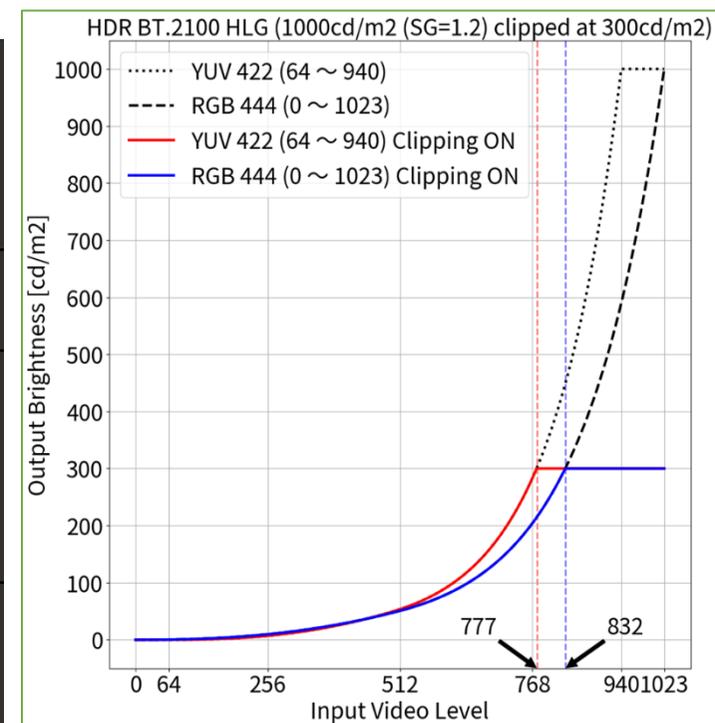
カラーモード: HLG_BT.2100 (PQ / HLG クリッピング: ON)	
YUV422	
① 輝度	300 cd/m <sup>2</sup>
② 黒レベル	最小値
③ 白色点	D65
④ ガンマ (EOTF)	HLG
⑤ HLGクリッピング	ON <sup>2</sup>
⑥ HLGシステムガンマ	1.2
⑦ 調整方法	ガンマ固定
⑧ 色域	BT.2020
⑨ 色域クリッピング	✓
① YUVカラーマトリクス	BT.2020 <sup>1</sup>
② 入力レンジ	リミテッド

## RGB444 信号の場合:

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」の② を下記表の通りに設定します。
2. ColorNavigator 7 を起動し、カラーモード「HLG\_BT.2100」を右クリックし、「目標の編集」を選択。
3. カラーモードタイプの  をクリックし、「Advanced Mode」を選択。その下の「プリセット目標」で「HLG\_BT.2100」を選択します。
4. ① ~ ⑨の項目をそれぞれ下記表の通りに設定。
5. 最後に「キャリブレーション」を実行してください。

カラーモード: HLG_BT.2100 (PQ / HLG クリッピング: ON)	
RGB444	
① 輝度	300 cd/m <sup>2</sup>
② 黒レベル	最小値
③ 白色点	D65
④ ガンマ (EOTF)	HLG
⑤ HLGクリッピング	ON <sup>2</sup>
⑥ HLGシステムガンマ	1.2
⑦ 調整方法	ガンマ固定
⑧ 色域	BT.2020
⑨ 色域クリッピング	✓
② 入力レンジ	フル

## ColorNavigator 目標の編集



## OSD 信号設定

- 1 規格上は BT.2020 を推奨しますが、機材やツールの設定によっては意図的に BT.709 の RGB to YUV 係数が適用される場合もあります。その際は機材やツールの設定に合わせて適切な設定を行ってください。
- 2 モニターの最大輝度である 300cd/m<sup>2</sup> の階調まで 1000cd/m<sup>2</sup> のリファレンスモニターと同等の階調表現を行うモードです。300 cd/m<sup>2</sup> の階調から上は白飛びさせて表示します。

## 2.9

ColorNavigator 7 での調整方法 - カラーモード: HLG\_BT.2100 (HLG クリッピング: OFF) (HDR)

## YUV422 信号の場合:

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」の①～②を下記表の通りに設定します。
2. ColorNavigator 7 を起動し、カラーモード「HLG\_BT.2100」を右クリックし、「目標の編集」を選択。
3. カラーモードタイプの  をクリックし、「Advanced Mode」を選択。その下の「プリセット目標」で「HLG\_BT.2100」を選択します。
4. ①～⑨の項目をそれぞれ下記表の通りに設定。
5. 最後に「キャリブレーション」を実行してください。

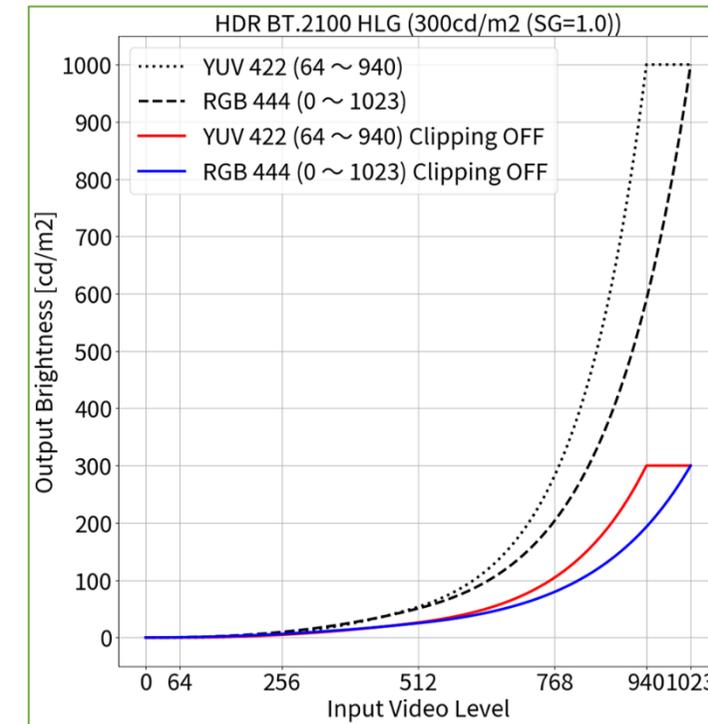
カラーモード: HLG_BT.2100 (PQ / HLG クリッピング: OFF)	
YUV422	
① 輝度	300 cd/m <sup>2</sup>
② 黒レベル	最小値
③ 白色点	D65
④ ガンマ (EOTF)	HLG
⑤ HLGクリッピング	OFF <sup>4</sup>
⑥ HLGシステムガンマ	1.0
⑦ 調整方法	ガンマ固定
⑧ 色域	BT.2020
⑨ 色域クリッピング	✓
① YUVカラーマトリクス	BT.2020 <sup>1</sup>
② 入力レンジ	リミテッド

## RGB444 信号の場合:

1. モニター前面ボタンから OSD メニューを開き、「信号設定」の②を下記表の通りに設定します。
2. ColorNavigator 7 を起動し、カラーモード「HLG\_BT.2100」を右クリックし、「目標の編集」を選択。
3. カラーモードタイプの  をクリックし、「Advanced Mode」を選択。その下の「プリセット目標」で「HLG\_BT.2100」を選択します。
4. ①～⑨の項目をそれぞれ下記表の通りに設定。
5. 最後に「キャリブレーション」を実行してください。

カラーモード: HLG_BT.2100 (PQ / HLG クリッピング: OFF)	
RGB444	
① 輝度	300 cd/m <sup>2</sup>
② 黒レベル	最小値
③ 白色点	D65
④ ガンマ (EOTF)	HLG
⑤ HLGクリッピング	OFF <sup>4</sup>
⑥ HLGシステムガンマ	1.0
⑦ 調整方法	ガンマ固定
⑧ 色域	BT.2020
⑨ 色域クリッピング	✓
② 入力レンジ	フル

## ColorNavigator 目標の編集

## OSD 信号設定



<sup>1</sup> 規格上は BT.2020 を推奨しますが、機材やツールの設定によっては意図的に BT.709 の RGB to YUV 係数が適用される場合もあります。その際は機材やツールの設定に合わせて適切な設定を行ってください。

<sup>4</sup> 300cd/m<sup>2</sup> の階調から上の白飛びを抑え、擬似的に 1000cd/m<sup>2</sup> のリファレンスモニターの階調表現を再現するモードです。